

JJAOT

The Journal of Japanese Association of Occupational Therapists (JJAOT)

日本作業療法士協会誌

2021

8

寺山久美子先生が「旭日小綬章」を受章

子ども向けWebコンテンツ

『作業療法って何？ オーティクんと学ぶ作業療法見学ツアー』のご紹介

【連載】

- 当事者が望む生活を実現するための作業療法のあり方
2020年度取り組み報告①

【協会活動資料】

- 2020年度 教育関連認定審査結果
認定作業療法士/専門作業療法士/臨床実習施設

【生涯教育制度に関する重要なお知らせ】

- 2021年度専門作業療法士および認定作業療法士の資格認定について

重要なお知らせ

p.3に必ずお目通しください



一般社団法人

日本作業療法士協会

JJAOT

日本作業療法士協会誌 CONTENTS

The Journal of Japanese Association of Occupational Therapists (JJAOT)

目次 ● 2021年8月15日発行 第113号

ピックアップ

4 祝 叙勲 寺山久美子先生が「旭日小綬章」を受章

Important NEWS

6 全国リハビリテーション学校協会主催
「厚生労働省指定臨床実習指導者講習会」の開催について
8 生涯教育制度：
生涯教育受講記録（手帳）の移行期間締め切り迫る！

2 協会各部署活動報告（2021年6月期）

3 事務局からのお知らせ

協会活動資料

9 ● 2020年度 教育関連認定審査結果
認定作業療法士 / 専門作業療法士 / 臨床実習指導施設

12 学会だより④

● 第55回日本作業療法学会プログラム概要

14 障害のある人のスポーツへの多様な参加を支援
するために⑭

● 東京パラリンピック競技大会への参加に向けた期待と準備②

16 当事者が望む生活を実現するための作業療法のあり方
2020年度取り組み報告①

● 概要、内容① 精神科作業療法計画の調査について

22 総合事業5分間講読

● 西宮市リハビリテーション専門職によるケアマネジメント支援事業
～ケアマネジャーと共有する生活行為向上の視点～

24 『作業療法白書』発刊に向けて⑧

● 調査のお願い（その1）

25 国際部 Information

● 英国の急性期病院で経験した作業療法

連
載

20 科学的介護情報システム LIFE 説明会
開催報告

26 子ども向け Web コンテンツ『作業
療法って何？ オーティクんと学ぶ
作業療法見学ツアー』のご紹介

28 生涯教育制度に関する重要な
お知らせ

31 2021年度 協会主催研修会案内

34 協会刊行物・配布資料一覧

36 学術誌『作業療法』紙媒体配付希
望受付について

37 日本作業療法士連盟だより

38 催物・企画案内

39 求人広告

40 編集後記

協会各部署 活動報告

(2021年6月期)

学術部

【本部】各委員会の会計処理。
【学術委員会】全体会議開催（Web）。事例報告登録制度（一般事例、MTDLP事例）の運営・管理。作業療法マニュアルの編集と増刷の準備、Web会議開催。組織的学術研究体制における精神科領域の研究実施。2022年度課題研究助成制度募集要項案の理事会上程。
【学術誌編集委員会】ホームページの更新。『作業療法』：第40巻3号の発刊、編集会議および査読者研修会議の開催、査読管理および編集作業、配布方法について検討。『Asian Journal of OT』：査読管理および編集作業と公開、新規査読者の依頼。
【学会運営委員会】学会運営会議開催。第55回日本作業療法学会（Web）：参加登録受付、プログラム等のホームページ更新、発表者への案内作成。第56回日本作業療法学会（京都）：会場視察実施。第57回日本作業療法学会（沖縄）：学会長決定。

教育部

【本部】生涯学習制度の検討、他。
【養成教育委員会】厚生労働省指定臨床実習指導者講習会の開催、各学会開催協力、申請書類・報告書の確認業務。MTDLP推進協力校会議の開催。各養成校でのICF教育の実態調査の作成、他。
【生涯教育委員会】システム開発および延期に伴う対応、受講記録移行の検証作業、土主催研修受講履歴登録の確認、推進担当者への研修管理システム説明会の開催。専門作業療法士制度の大学院連携アンケートの実施、新規分野（脳血管障害分野）シラバス等の検討、再資格認定試験の時期・方法についての検討。認定作業療法士新規取得者および更新者アンケート回答の集計。現職者共通・選択研修修習シラバス・運用マニュアルの改編。2020年度現職者共通・選択研修実績調査・アンケートの実施。他団体・SIG等の認定申請・報告書の修正。医療福祉eチャンネルでの共通研修とMTDLPレポート確認、他。
【研修運営委員会】2021年度専門作業療法士取得および認定作業療法士取得研修会、重点課題研修、養成教育関連研修のWeb研修会準備および開催。eラーニング受講対応および新規コンテンツ作成の準備。連携研修および他団体研修の開催準備。Web研修会運営・会計マニュアルの検討、他。
【教育関連審査委員会】CORE第1回理事会の開催。第1回認定作業療法士認定および更新受付ならびに審査の準備。認定作業療法士取得研修修了試験質問および研修水準審査の準備。専門作業療法士更新受付および審査の準備。臨床実習指導施設認定（新規および更新）の審査、他。

制度対策部

【担当理事】診療報酬改定に向けた要望に関する検討、リハビリテーション医療関連団体協議会報酬対策委員会への参加。
【医療保険対策委員会】①ポータルサイトにて医療保険に関する情報提供。②会員からの制度に関する問い合わせ対応。③学術部マニュアル（精神科）への執筆協力。④調査、意見交換会に向けた準備（認知症班、精神科班）。
【介護保険対策委員会】①ポータルサイトにて介護保険に関する情報提供。②科学的介護情報システムLIFE説明会の開催（6月26日）。③調査に向けた準備。
【障害保健福祉対策委員会】①学術部マニュアル（子どもの通所支援）への執筆協力。②学校教育現場における作業療法士活用に向けた取り組みに関する有識者会議（6月26日）。③パンフレット「子どもへの作業療法」作成協力。④就労支援フォーラム協働企画会議への参加、ミニフォーラム企画打ち合わせ。
【ICF班】MTDLP事例データ収集、精神科作業療法計画データ収集に向けた検討。
【司法班】活動の方向性に関する検討。

広報部

【広報委員会】ホームページ：アクセスログの検討、小学生向けコンテンツの作成・校正、一般向けコンテンツの掲載準備、フリー素材の検討、管理・更新作業。パンフレット：子ども分野パンフレット作成のための検討開始。その他：2023年度組織改編に向けた広報部のあり方の検討、分掌案の検討（今後も継続）。
【機関誌編集委員会】6月号発行。8月号以降の執筆依頼、進行等の確認。2022年リニューアルに向けた機関誌のあり方等の検討。

国際部

【全体】6月理事会に国際部業務分掌について審議上程（6月19日）。白書アンケート検討会への出席（6月18日）。
【国際委員会】アジア作業療法士協会交流会の打ち合わせ（6月17日）、チラシの作成。海外研修助成制度の広報活動。機関誌「国際部 Information」の原稿執筆。白書アンケートの検討。国際交流動向調査（土会）の配信。日本小委員会打ち合わせ（6月19日）、2022台日ジョイントシンポジウムテーマに関する検討。2021年度重点活動項目達成見込みの取りまとめ。JANNETなど他団体との連携。国際連連の問い合わせ対応。
【WFOT委員会】WFOTからの連絡・アンケートへの対応。

災害対策室

災害対策室会議の開催（Web：6月10日）：2021年度の活動および役割分担の確認。大規模災害を想定したシミュレーション訓練実施に向けた案内を土会へ配信準備。国際医療技術財団（JIMTEF）への活動協力。日本災害リハビリテーション支援協会（JRAT）活動への協力。災害支援ボランティア登録の随時受付。

生活環境支援推進室

①生活行為工夫情報モデル事業：ブロックごとに事例登録・事例

活用に向けた準備、事業報告書作成、新規参加士会の登録。②福祉用具相談支援システム運用事業：参加士会ごとに相談対応。③IT機器レンタル事業：レンタル受付対応、2021年度レンタル機器の調整、会員からの問い合わせ対応。④国際福祉機器展の相談コーナーへの協力調整。

MTDLP室

①課題解決に向けた取り組み：事例検討用（新規モデル）事例の提供に向けた検討、国民に対する「人は作業をすることで健康になれる」を普及啓発の検討。②都道府県士会との意見交換会（Web）に向けた取り組み：効果的な取組（ベストプラクティス）の収集と情報提供の検討、指導者の役割の明確化と推進指導者による事例登録のためのスーパーバイズシステムの検討、オンライン研修の運営（事例検討会）マニュアルの作成。

47都道府県委員会

①各ワーキンググループにて委員会に向けた検討、関連部署との調整。②第1回47都道府県委員会の開催（Web：6月12日）。③47都道府県委員会運営会議の開催（Web：6月8日）。④担当理事の打ち合わせ（Web：6月29日）。

地域包括ケアシステム推進委員会

委員による全国6ブロックごとの士会支援、連絡調整。ブロック会議の実施。全体会議の開催（Web：6月10日）。2021年度地域支援事業に関する臨時Web研修会の開催（Web：6月23日）。組織改編に向けた運転と作業療法委員会との合同会議。

運転と作業療法委員会

士会協力者および士会からの問合せおよび相談対応。協会ホームページのコンテンツの検討。Web全国調査の準備。神奈川県警察に着任した作業療法士と情報交換。移動支援に関する研修会の準備。全体会議の開催（Web：6月11日）。組織改編に向けた地域包括ケアシステム推進委員会との合同会議。

「協会員＝士会員」実現のための検討委員会

第1回47都道府県委員会での経過報告。方策と工程表案の検討。機関誌原稿の執筆、周知啓発活動。

障害のある人のスポーツ参加支援推進委員会

機関誌原稿の執筆。広報ツールとしての動画・チラシの製作、業者打ち合わせ（6月10日）。協会ホームページの公開準備。2021年度重点活動項目達成見込みの検討。2021年重点課題研修リハールの実施（6月29日）。

白書委員会

アンケート項目に関する打合せおよび会の開催（6月4日・18日・25日）。機関誌原稿の執筆。

事務局

【財務・会計】2021年度の会費収納。2022年度収入予測・予算配分検討のための資料作成。その他会計・経理処理。
【会員管理】会員新入会、異動による変更処理。員数計算処理。特例再入会期間終了に伴う会員資格喪失確定通知の発送。施設養成校管理システムの管理・メール対応。新入会希望者への振込用紙発送。海外会員への発送。刊行物の戻り処理。パスワード再発行に関する対応。研修受講カードの有料再発行に関する対応。士会員情報と協会員情報のデータ照合作業。会員情報のデータ収集。永年会員制度の修正第3案の作成、理事会への上程。
【総務】役員改選に伴う法人登記の変更。三役会・理事会にかかる資料作成・開催補助・議事録作成。收受文書の確認・対応。会長のスケジュール調整・管理、依頼案件への対応。新コンピュータシステム2次開発の優先的な改修対応（短期的対応）、2.1次開発のためのシェアリング工程：キックオフ会議（6月7日）の開催と週3日6コマのワークショップ開始。事務局職員の労務管理、勤務体制に関する検討。テレワーク定着促進助成金の申請と対応。Web会議用貸出機器の管理。事務局備品・防災用グッズ等の整備。協会会議室の貸出管理。理事用Surface・携帯電話入れ替え準備。
【企画調整】2022年度重点活動項目の予備的検討、第四次作業療法5ヵ年戦略（2023～2027）策定作業の大作について資料作成、理事会へ上程。
【規約】「協会員＝士会員」実現および協会組織体制改編に向けての定款変更の予備的検討。
【表彰】令和3年春の叙勲に関する伝達式等の検討と準備。令和4年春の叙勲候補者推薦に向けての準備作業。
【総会議事運営】理事会での2021年度定時社員総会に関する開催報告、議事録の作成。
【国内外関係団体との連絡調整】日本作業療法士連盟との2021年度第1回合同三役会の開催（6月5日）、チーム医療推進協議会の事務局業務、リハビリテーション専門職団体協議会（リハ3団体）、全国リハビリテーション医療関連団体協議会・報酬対策委員会、日本災害リハビリテーション支援協会（JRAT）、厚生労働省、法務省、等々との連絡調整・会議参加など（継続）。
【福利厚生委員会】福利厚生委員会の開催（6月13日）。2019年度待遇調査の結果取りまとめおよび報告書作成。組織改編に向けての「福利厚生委員会の活動と今後の役割」の作成。
【倫理委員会】倫理委員会の開催（6月10日）。前委員会からの申し送り、今後の事業と役割分担について確認。倫理問題当業者に對する報告書の提出要請。都道府県士会・その他会員・非会員から寄せられた倫理問題事案への対応。

事務局からのお知らせ

◎ 2021 年度会費をまだご納入いただけていない皆様へハガキをお送りしました

7 月末までに 2021 年度会費をご納入いただけなかった方へ協会事務局より「会費納入のお願い」ハガキをお送りしています。このまま年度末（2022 年 3 月末）までに年会費のお支払がありませんと会員資格を喪失し、現在の会員番号は使用できなくなり、なおかつ協会在籍履歴、生涯教育受講履歴もすべて抹消されます。また協会に再入会を希望される際は複雑な手続きが必要になりますので、そうならないためにも、早めに会費の納入をお願い致します。

振込用紙を紛失された方や、金額が不明な方は協会事務局（kaihi@jaot.or.jp）までお問い合わせください。

なお、会費納入状況や会員証については協会ホームページの会員ポータルサイトにログインをすることでいつでもご確認いただけます（会費納入状況の確認方法：協会ホームページ＞会員ポータルサイト＞登録情報＞会員情報＞会費納入状況）。

◎ご自身の登録情報が最新かどうかをご確認ください！

協会に登録している勤務施設は現在の職場でしょうか。協会より会員所属施設宛に郵送物等をお送りすると、既に退職済みとのことで返送されてくる場合があります。また、発送先を自宅宛とご指定いただいている場合、勤務施設に関する情報が更新されず、古い勤務施設の登録が残ったままになっていることがあります。協会にご登録いただいている施設にその会員が所属しているものと判断しますので、ご自身の登録している勤務施設情報が最新であるかどうかを確認し、もし古い情報のままでしたら修正・更新をお願い致します。

【登録情報の確認方法】

協会ホームページより、会員ポータルサイトにログインし「基本情報変更」で登録情報の確認・修正が可能です。

※パスワードをお持ちでない方、忘失された方はパスワードを再発行することができます（協会ホームページ＞会員ポータルサイト＞パスワードを忘れた方はこちら）。

◎休会に関するご案内

現在は 2022 年度（2022 年 4 月 1 日～ 2023 年 3 月 31 日）の休会を受付中です。休会制度の詳細および「Q&A」については協会ホームページをご覧ください（協会ホームページ＞会員向け情報＞諸手続き＞休会制度）。なお、2022 年度の休会を申請する方は 2021 年度の年会費をご納入のうえ、用紙は事務局までご請求ください。その他ご不明な点は協会事務局（kaihi@jaot.or.jp）までお問い合わせください。



祝 叙勲

寺山久美子先生が「旭日小綬章」を受章

令和3年春の叙勲にて、一般社団法人日本作業療法士協会の名誉会員で第三代会長である寺山久美子先生（会員番号92）が保健衛生功勞により「旭日小綬章」を受章されました。寺山先生は、本会の会長をはじめとする役員・役職を歴任され、作業療法士という職能に対する長年にわたる功績が高く評価されての受章。作業療法士団体としては初めての叙勲であり、たいへん名誉なこととして会員の皆様と共に喜び祝いたくご報告申し上げます。

なお、本受章については3月16日に内示、4月20日の閣議で決定され、4月29日付で発令されましたが、コロナ禍の緊急事態宣言により本来ならば国が執り行う叙勲伝達式が中止となったため、宣言解除後の7月4日、パレスホテル東京にて、中村春基会長より寺山久美子先生に勲記勲章が手渡されました。



コロナ禍の中 叙勲受章者に選ばれて

寺山 久美子

2020年の春、コロナ蔓延による緊急事態宣言中だったと思いますが、中村春基会長から自宅に電話がかかってきました。「OT協会初になります、2021年春の叙勲候補者として先生（寺山のこと）を推薦させていただきたい」とのこと。「協会初ということであれば、初代会長の鈴木先生か第2代会長の矢谷先生でしょう。第3代会長である寺山では筋が違います」と反論いたしました。すると、「お二人にはアプローチしたが、それぞれ事情がおありになり、不発に終わりました」とのこと。結果、OT協会の「ぜひ叙勲の推薦母体として認知されたい」という強い意思・願望に協力せねばという気持ちもあって、叙勲候補者の推薦に合意し、書類を提出しました。

コロナ禍にあって事務作業が進まないのか、当局からの連絡は以後、協会の宮井恵次事務長にも全く無かったようで、そのまま本件についてはほぼ忘れておりました。

正式に叙勲の対象者と知ったのは2021年4月29日の新聞各社報道と厚生労働省のホームページからでした。その後協会からのお知らせがあり、やっと実感がわいてきました。続いて、小池東京都知事や選挙区の国会議員からの祝電、所属先の大学の理事長・学長・OT関連の先生方ほかからのお花、色紙、祝電、お手紙、メール等々が届けられ、また叙勲関連業者からの各種パンフレットも溢れて、家人も漸く「令和3年春の叙勲対象者なのだ〜」と実感できたようでした。

さて、コロナ禍が続く政府当局主催による伝達式は中止という状況から、推薦母体である日本作業療法士協会が伝達式を行うという通知により、夫寺山真一郎とともに、7月4日（日）、会場である東京駅近くの「パレスホテル東京」に赴きました。高齢者の二人は既に2回目のワクチンを接種済みで、その点はやや安心でした。中村会長のお言葉、三沢常務理事、小林理事、宮井事務長と事務局お二人との伝達式は短時間ながら感慨深いものでした。ありがとうございました。

ところで、令和3年春の叙勲受章者は4,253名（女性は428名で10.3%）、厚生労働省関連では476名、うち寺山が対象となった「旭日小綬章」は10名でした。俳優で歌手の石田あゆみさんや歌手の森進一さんもこの章の対象者で、「国家又は公共に対し功勞のある者で、功績の内容に着目し、顕著な功績を挙げた方」が該当するそうです。

OT協会としても寺山自身としても、本体験は初めてであり、特に「コロナ禍という異常事態の中の出来事」という事情から、事の概要を会員の皆様への説明を兼ねて報告させていただきました。

「臨床23年、教育研究35年のリハビリテーション活動」を継続してこられたのも、関係各位のおかげと深謝し、受章を素直に喜んでおります。



花束をかかえてご主人と

寺山久美子先生 略歴

- 1962年 東京大学医学部衛生看護学科卒業、看護婦・保健婦免許登録
- 1962～1967年 社会福祉法人日本肢体不自由児協会整肢療護園厚生棟勤務
- 1967～1968年 東京大学附属病院リハビリテーション部勤務
- 1968年 作業療法士免許登録、日本作業療法士協会に入会
- 1968～1985年 東京都心身障害者福祉センター勤務、肢体不自由科長
- 1971～1979年 日本作業療法士協会 常務理事
- 1972年 医学博士（東京大学）
- 1979～1991年 社団法人日本作業療法士協会 副会長
- 1986～2002年 東京都立医療技術短期大学（後の東京都立保健科学大学、東京都立大学）教授、作業療法学科長
- 1991～2001年 社団法人日本作業療法士協会 会長
- 2002年～現在 東京都立大学 名誉教授
- 2002～2009年 帝京平成大学 教授、健康メディカル部長、作業療法学科長
- 2009年～現在 大阪河崎リハビリテーション大学 教授、副学長
- 2009年～現在 社団法人日本作業療法士協会 名誉会員

日本作業療法士協会役員としての功績

日本作業療法士協会が設立された2年後の1968年に入会。入会してほどなくその手腕が買われ、1971年、33歳の若さで常務理事に就任すると、以後切れ目なく役員職にあって、協会を支える大黒柱として活躍。常務理事（8年）、副会長（12年）、会長（10年）を歴任し、役員歴は通算30年に及ぶ。この間、理事の職務と並行して、実務的にはまず事務局長として、法人化に向けての準備作業、都道府県作業療法士会の設立など、誕生後まもない協会の基盤整備に努めた（1971～1979年）。1981年の国際障害者年に際しては国際障害者年活動委員会委員長として東京都と共催の「日米リハビリテーション会議」の開催に中心的な役割を果たし、1985年から1989年にかけては作業療法書検討委員会、作業療法書編集委員会の委員長を歴任して、本邦初の作業療法の総合的な教科書シリーズ『作業療法学全書』の企画・編集・執筆・刊行に尽力した。1991年に協会の第三代会長に就任してからは各方面に精力的な渉外活動を展開。国や関係団体等の各種委員等を歴任して常に幅広い視野で発言し、作業療法の普及振興、作業療法士の社会的地位の向上に大きく貢献した。特に地域に根ざした作業療法の重要性を説き、介護保険制度の創設に向けては作業療法士の視点からリハビリテーションの必要性を国に要望、とりわけ訪問リハビリテーションが不可欠であることを主張した。また、福祉用具や住環境整備の適合における作業療法士の技能を強調し、その発信と要望、福祉用具プランナーとしての作業療法士の養成に取り組む一方で、東京商工会議所に協力して、今日にまで続く「福祉住環境コーディネーター」の資格創設に深く関与したほか、東京都心身障害者福祉センター内に本邦初の「肢体不自由者用モデル住宅」を作り、バリアフリー社会実現のために「国際シンボルマーク」の普及を推進するなどして社会への還元にも努めた。他方、会長在任中の10年間は本会の会員が飛躍的に増え始めた時期であり、学術事業としては『作業療法ガイドライン』初版を策定、『作業療法マニュアルシリーズ』の刊行を開始し、教育事業としては作業療法士の「生涯教育システム」（現在の生涯教育制度）の創設に指導的な役割を果たすなど、現在に繋がる協会事業の礎を築いた功績は大きい。2014年、アジアで初めての作業療法国際学会である第16回世界作業療法士連盟大会が横浜で開催された折には、日本作業療法士協会の名誉会員として「我が国における作業療法の進展と挑戦」を主題とした基調講演を行い、世界に向けて日本の作業療法士の存在感を示すことに大きく寄与した。



勲章と寺山先生

全国リハビリテーション学校協会主催 「厚生労働省指定臨床実習指導者講習会」 の開催について

日本作業療法士協会では、2019年度より「厚生労働省指定臨床実習指導者講習会」を開催し、2021年6月末までに、計199回開催、13,000名余が修了している。これは、各都道府県作業療法士会の皆様の多大なご協力、ご尽力の賜物であると改めて感謝申し上げたい。

この講習会は、ご存じのとおり、厚生労働省から発出された理学療法士作業療法士臨床実習指導者講習会の開催指針に則り、日本作業療法士協会、日本理学療法士協会、全国リハビリテーション学校協会が連携、協働して開催するものである。作業療法士養成の大きな柱である「臨床実習」を高い質をもって実施できるよう、この講習会を修了した「臨床実習指導者」を数多く育成することは喫緊の課題であるため、これまで行われてきた日本作業療法士協会主催、日本理学療法士協会主催の講習会に加え、全国リハビリテーション学校協会においても、今年度より当該講習会を開催することとなった。具体的な講習会プログラムについて、全国リハビリテーション学校協会主催と日本作業療法士協会主催のものを以下に示す。

全国リハビリテーション学校協会主催 厚生労働省指定 臨床実習指導者講習会プログラム

(90分)	講義1【理学療法士・作業療法士養成施設における臨床実習制度の理念と概要】 臨床実習指導者講習会の開催の背景ならびに目的と理学療法士・作業療法士の養成にあたっての教育指針
(90分)	講義2【臨床実習指導者の在り方①】 学生指導のための教育原論・人間関係論・ハラスメント防止
(90分)	演習1【臨床実習指導者の在り方①】 学生と良好な人間関係を構築するためには？
(90分)	講義3【臨床実習指導者の在り方②】 臨床実習のための教育方法論
(90分)	演習2【臨床実習指導者の在り方②】 臨床実習に教育手法をどのように応用するか？
(60分)	講義4【臨床実習の到達目標と修了基準①】 臨床実習の到達目標と修了基準
(90分)	演習3【臨床実習の到達目標と修了基準①】 臨床実習に求められる到達目標と修了基準とは
(60分)	講義5【臨床実習の到達目標と修了基準②】 臨床実習の到達度並びに学習成果の評価
(90分)	演習4【臨床実習の到達目標と修了基準②】 臨床実習の学習到達度をどのように評価するか？
(60分)	講義6【臨床実習施設における臨床実習プログラムの立案】 臨床実習プログラムの立案と指導の実際
(90分)	演習5【臨床実習施設における臨床実習プログラムの立案】 ガイドライン5（4）に規定する時間数で臨床実習プログラムを立案する
(60分)	演習6【臨床実習指導者およびプログラムの評価】 臨床実習指導者およびプログラムの評価

日本作業療法士協会主催 厚生労働省指定 臨床実習指導者講習会プログラム

(30分)	講義1【理学療法士、作業療法士養成施設における臨床実習制度論】 意義・目的・内容・仕組み
(60分)	演習1【一般目標と行動目標】
(60分)	講義2-1【臨床実習指導方法論①】 学生の特徴と対応 対象者の捉えかた 臨床実習指導のあり方

(60分)	講義 2-2【臨床実習指導方法論②】 見学・模倣・実施プロセスと指導ポイント コーチング・ティーチング
(90分)	演習 2【基本的態度・臨床技能・臨床の思考過程の見学・模倣・実施の実践】
(30分)	講義 3【臨床実習における管理・運営】 臨床実習の基本構造 ハラスメント リスク管理 個人情報の保護
(60分)	演習 3【ハラスメント防止】
(60分)	講義 4【臨床実習における学生評価】 教育評価の意義 学生評価とは 評価の側面と役割 (OSCE の活用)
(90分)	演習 4【臨床実習における学生評価の実際】 重点ポイントの整理および実習遂行が困難な学生への対処法
(30分)	講義 5【職業倫理および連携論】 多職種連携・チームワーク論 卒後教育との関連
(60分)	演習 5【多職種連携】
(60分)	講義 6【臨床実習指導方法論③】 生活行為向上マネジメント (MTDLP)
(90分)	演習 6-1【MTDLP によるマネジメント過程の実践】
(90分)	演習 6-2【事例報告書の作成】 事例報告書の作成指導・報告の仕方 臨床思考過程の理解と指導
(90分)	演習 7【作業療法参加型臨床実習の理解】 作業療法参加型実習のあり方 臨床実習プログラムの立案

講習会を受講したのちは、主催団体の違いを問わず、修了証書は発行される。しかし、日本作業療法士協会のプログラム講義 6、演習 6-1 で学修する MTDLP に関する講義、演習については、全国リハビリテーション学校協会のプログラムには含まれていない。したがって、全国リハビリテーション学校協会主催の講習会を受講した会員には、ぜひ生涯教育制度の基礎研修、現職者選択研修、MTDLP 基礎研修や、その他の MTDLP に関する研修会などを積極的に受講し知識を深めることを願います。

また、主催団体別に、講習会に参加した場合の生涯教育制度に関する注意点を以下に記載する。

- (1) 基礎研修ポイント数 (全日程を修了したもの)
 - 日本作業療法士協会主催 (各都道府県士会開催) に参加…4 ポイント付与
 - 全国リハビリテーション学校協会主催に参加…2 ポイント付与
 - 日本理学療法士協会主催に参加…2 ポイント付与
- (2) 会員ポータルへの受講履歴 (基礎研修ポイント / 臨床実習指導) の登録
 - 日本作業療法士協会主催 (各都道府県士会開催) に参加…協会で登録
 - 全国リハビリテーション学校協会主催に参加
 - …基礎研修ポイントは自身で登録、講習会受講履歴登録は自身による郵送手続き
 - 日本理学療法士協会主催に参加
 - …基礎研修ポイントは自身で登録、講習会受講履歴登録は自身による郵送手続き

なお、全国リハビリテーション学校協会主催の講習会開催日時等の詳細については、わかり次第お知らせする予定であるので、適宜確認していただくことを願います。

生涯教育制度： 生涯教育受講記録（手帳）の移行期間 締め切り迫る！（2021年9月末まで）

手帳移行をまだ終わっていない会員の方は、**2021年9月末までに必ず手帳の移行を行ってください。**詳しい
手続方法は下記もしくはホームページをご確認ください。

○手帳移行手続きの解説（ホームページの手続き方法から抜粋）

- ① 協会ホームページにて、手帳移行の運用書、手続き方法を確認ください。
事前準備がありますので、準備ができた時点で、手帳移行の申請を行ってください。
- ② 事前に、スマートフォン等で手帳の必要個所を画像に撮っておくのがポイント。



- ③ 会員ポータルサイトへログイン
生涯教育→各種申請→手帳移行
※基礎研修修了しているかどうかで、展開する画面が異なります。



- ④ 基礎研修未修了者
 - ・現職者共通研修の履歴
 - ・現職者選択研修の履歴
 - ・基礎ポイントの合計数
 上記を入力してください。
それぞれを証明する手帳のページの画像を添付してください。



注意！
申請の内容と添付する画像に違いがないことを確認してください。

参考！
複数枚の画像を添付する方法
→ Word、Excel に写真を複数枚貼り付け、1つのファイルとして添付する。

- ⑤ 基礎研修修了者（認定・専門作業療法士を含む）
基礎ポイントの合計数
基礎ポイントの最後のページの写真を添付する。



注意！

- ・申請のポイント数と添付する画像の最終ポイント数に違いがないことを確認してください。
- ・基礎研修修了日、認定作業療法士認定日以降のポイントが移行対象です。
- ・0（ゼロ）ポイントの場合は画像の添付は不要です。

○退会履歴のある会員は、事務局で対応します。連絡をお願いします。
○問合せ先： 協会事務局 ot-syougaiyouiku@jaot.or.jp

2020 年度 認定作業療法士認定審査結果

(2021 年度定時社員総会時提示資料)

以下の会員を 2020 年度に認定作業療法士として認定したことを公示する（太字は新規取得者）。なお、2020 年度申請者のうち、2021 年度になって審査を受けたものは含まれない。

(北海道)	菊地 啓介 宮島 真貴	小玉 武志 豊村 龍人 行俊 省吾	金子 翔拓 有働 克也 今井 春彦	小島 佳祐 大本 慎也	新開谷 まゆき 早崎 涼太
(青森)	木村 陽子				
(岩手)	村上 満				
(宮城)	佐藤 善久	梅津 雄志			
(秋田)	今野 梓				
(福島)	中野 祐嗣				
(茨城)	鈴木 直子	藤原 あゆみ	小松崎 真澄	柘植 哲洋	
(栃木)	黒淵 永寿	関森 英伸	鈴木 聡史		
(群馬)	吉岡 和哉	石森 卓矢			
(埼玉)	國友 淳子	高橋 啓吾	内藤 大佑		
(千葉)	鎗田 英樹	加藤 圭貴			
(東京)	寺沢 陽子	河村 麻衣	岩谷 清一	毛利 友美	中村 泰等
(神奈川)	小砂 哲太郎	坂下 慶多	井本 裕堂	駒場 一貴	島崎 新
	長田 友加里	岩崎 竜弥			
(新潟)	渡邊 亜由美	関 悟	大平 弘樹		
(富山)	作田 清子				
(石川)	千田 茂	中森 清孝	高間 達也	白山 真由子	坂下 宗祥
	北谷 渉				
(福井)	岡本 利子	田嶋 神智			
(長野)	福田 文康	小淵 浩平	鈴木 聡子	池内 由直	北林 雅大
	池上 正斗				
(岐阜)	渋谷 玲二	古桧山 建吾	坂田 崇好		
(静岡)	中野 小織	鹿田 将隆	稲葉 洋介	河田 祐貴	尾鷲 晋平
	中村 毎途				
(愛知)	澤田 泰洋	朝倉 起己	行 功一郎	萬屋 京典	寺島 有希子
	柳瀬 敦志	伊藤 大貴			
(三重)	田中 一彦	松本 周二	永田 得郎		
(滋賀)	嶋川 昌典				
(京都)	稲富 宏之	中村 友美	藤田 有希	西谷 美智子	林 亜遊
(大阪)	神保 優子	鈴木 真	大友 健治		
	下西 徳	長倉 侑祐	東 翼		
(兵庫)	小川 真寛	西畑 永人	渡部 静	上田 乃輔	田代 大祐
	鍛冶 実	北田 泰敏	山本 安里子	垣下 真宏	柏原 直哉
	井本 浩史				
(奈良)	北野 真奈美	千葉 亜紀	金星 聡	沖野 実里	
(和歌山)	後呂 智成				
(鳥取)	梅津 清司郎	中村 貴紀	元廣 惇		
(島根)	後藤 雪絵	佐藤 千晃	矢野 宏行	森川 芳彦	小坂 美江
(岡山)	小林 理英	渡辺 展江			
	竹田 和也				
(広島)	吉川 ひろみ	奈良 浩之	島本 貴光	森松 千夏	齊田 和哉
	坂本 暁良	村山 雄大			
(山口)	岡藤 農	齊藤 隆一			
(徳島)	大前 博司				
(香川)	瀬藤 功	鎌田 雄大	田村 篤史	倉本 由伽	中迫 紀彦
(愛媛)	菅 隆一	三並 広親	浦瀬 康太	梶谷 治夫	
(福岡)	日田 勝子	國武 亜由美	末次 亮平		
(長崎)	中島 音衣麻	藤原 謙吾			
(熊本)	西 聡太	小手川 耕平	大塚 開成	内野 康一	
(宮崎)	四本 伸成				
(鹿児島)	川井田 翔悟	植村 健一	園田 耕一		
(沖縄)	玉那覇 迅	宮城 若子	石原 健太郎		

以上 155 名

2020年度 専門作業療法士認定審査結果

(2021年度定時社員総会時提示資料)

以下の会員を2020年度に専門作業療法士として認定したことを公示する。

〔福祉用具〕 1名	中川 正己 (大阪)			
〔手外科〕 4名	斎藤 和夫 (埼玉) 坂本 竜弥 (長崎)	茶木 正樹 (愛知)	山田 玄太 (長崎)	
〔特別支援教育〕 1名	米持 喬 (大阪)			
〔高次脳機能障害〕 1名	繁野 玖美 (東京)			

以上7名

2020年度 臨床実習指導施設認定審査結果

(2021年度定時社員総会時提示資料)

以下の施設を2020年度に臨床実習指導施設として認定したことを公示する(太字は新規取得施設)。
なお、2020年度申請施設のうち、2021年度になって審査を受けた施設は含まれない。
また、施設名は申請書に記載された施設名で掲載している。

〔北海道〕	砂川市立病院
〔福 島〕	一般財団法人太田綜合病院附属太田西ノ内病院
〔茨 城〕	公益財団法人報恩会石崎病院 茨城県立医療大学付属病院 医療法人圭愛会日立梅ヶ丘病院 筑波記念病院 介護老人保健施設つくばケアセンター 土浦協同病院なめがた地域医療センター
〔栃 木〕	医療法人桃李会御殿山病院 医療法人朝日会朝日病院 上都賀厚生農業協同組合連合会上都賀綜合病院
〔群 馬〕	公立藤岡綜合病院
〔埼 玉〕	埼玉県総合リハビリテーションセンター
〔千 葉〕	社会福祉法人九十九里ホーム九十九里ホーム病院 医療法人京友会京友会病院 医療法人石郷岡病院

- 〔東京〕 医療法人社団三雍会古賀整形外科通所リハビリテーション
医療法人社団永生会永生病院
一般社団法人巨樹の会五反田リハビリテーション病院
- 〔神奈川〕 独立行政法人労働者健康安全機構横浜労災病院
神奈川リハビリテーション病院
- 〔新潟〕 独立行政法人国立病院機構西新潟中央病院
- 〔石川〕 能美市介護老人保健施設はまなすの丘
医療法人社団浅ノ川金沢脳神経外科病院
- 〔山梨〕 甲府城南病院
公益財団法人山梨厚生会山梨厚生病院
- 〔長野〕 伊那中央病院
健和会病院
- 〔岐阜〕 大垣市民病院
地方独立行政法人岐阜県立多治見病院
- 〔静岡〕 医療法人社団平成会藤枝平成記念病院
- 〔愛知〕 刈谷豊田総合病院
医療法人一草会一ノ草病院
医療法人三九会三九朗病院
- 〔三重〕 社会医療法人居仁会総合心療センターひなが
三重県厚生農業協同組合連合会松阪中央総合病院
- 〔京都〕 医療法人啓信会京都きづ川病院
- 〔大阪〕 医療法人恒昭会藍野病院
みどりヶ丘病院
彩都リハビリテーション病院
医療法人爽神堂七山病院
独立行政法人労働者健康安全機構大阪労災病院
医療法人朋愛会朋愛病院
千里津雲台訪問看護ステーション
- 〔兵庫〕 有馬温泉病院
- 〔和歌山〕 国保野上厚生総合病院
- 〔島根〕 島根大学医学部附属病院
大田市立病院
- 〔山口〕 JA 山口厚生連長門総合病院
- 〔福岡〕 桜十字福岡病院
飯塚病院
医療法人社団豊永会飯塚記念病院
医療法人社団高邦会高木病院
医療法人徳洲会福岡徳洲会病院
- 〔長崎〕 医療法人志仁会西脇病院
日見中央病院
三原台病院
医療法人友愛会田川療養所
- 〔鹿児島〕 公益社団法人肝属郡医師会 垂水中央病院
- 〔沖縄〕 医療法人タビック 宮里病院
医療法人ちゅうざん会 ちゅうざん病院

以上 61 施設



第 55 回日本作業療法学会 プログラム概要

連載
第 4 回
(全 4 回)

作業療法の分化と融合

- 輝く未来に実践知のバトンをつなぎ・たくす -

“New Horizons and Specialization in Occupational Therapy :
Passing the knowledge and technique baton to a creative generation”



会期および開催方法

2021年9月10日(金)、11日(土):ライブ配信(基調講演等の特別プログラム)および
オンデマンド配信(ライブ配信以外のプログラム)

2021年9月13日(月)~10月13日(水):オンデマンド配信(全プログラム)

学会ホームページ <https://www.c-linkage.co.jp/ot55/>

学会長 柴田 克之 (金沢大学医薬保健学域保健学類)

昨年に続き、COVID-19 感染拡大の影響を受け、本学会もライブ配信とオンデマンド配信となった。仙台にて、顔を突き合わせての議論ができないということはたいへん残念ではあるが、Web 学会というかたちが 2 年目になった今、参加者もオンラインの会議や研修会に慣れてきており、仕事を休まずに時間を選んで学会参加できる手軽さはありがたいものではないだろうか。

特に今回紹介するプログラム、企画セミナーと専門作業療法士セミナーは、オンラインの参加が最も有効に活用できるものと思われる。現地でプログラムスケジュールを眺め、1 つだけ選んで参加しなければならなかったセミナーが、自分の都合に合わせて何度も見ることができ、会場が満席であきらめたり、ちょっと覗くことをためらったりしていたプログラムも、遠慮せずに見ることができる。この機会に、多くのセミナーにご参加いただきたい。

そして来年こそ、開催地の文化を楽しみながら、存分に討論を交わすことのできる学会となることを切に願っている。

第 55 回日本作業療法学会の企画セミナーと専門作業療法士セミナーの 2 つについてお知らせする。

[16 の企画セミナー：オンデマンド配信]

本セミナーは、作業療法の幅広い専門領域である協会認定の作業療法関連学会、研究会、SIG、そして協会内の部・委員会などが企画運営する 16 団体による(表 1)。

各団体が追究する実践の基礎から応用にいたる専門性、評価基準や介入の有効性など最新の研究動向が示される企画が満載である。各団体の目指す作業療法の効果判定やエビデンスの検証はもちろんのこと、臨床の場で漠然と頭のなかにあった疑問を言語化し、解決のヒントや実践家としての姿勢を示してくれる内容となっている。

オンデマンドのプログラムなので、時間を気にせずご参加いただけ、専門性を追究する実践の知が新たな可能性につながる時間になることが期待できる。多くの会員の皆さんにご参加いただきたい。

[10 の専門作業療法士セミナー：ライブ配信後オンデマンド配信]

本学会が 2009 年度から始めた専門作業療法士 10 分野のセミナーである(表 2)。本セミナーは、作業療法における専門分野を追究し、臨床、教育、研究、

表1 企画セミナー

	団体名	領域
1	日本作業療法研究学会	身体障害・精神障害・地域作業療法
2	日本スポーツ精神医学会	精神障害領域
3	「ひとと作業・生活」研究会	精神障害
4	Occupational Therapy in Oncology - Researchers Network	がん作業療法
5	アディクション関連問題作業療法研究会、LAHPE 研究会、司法精神科作業療法全国事例検討会、京都精神科分野勉強会	メンタルヘルス
6	作業療法神経科学研究会	身体機能領域・神経科学・脳科学
7	国際リハビリテーション研究会	国際リハビリテーション
8	Review Circle on Rehabilitation for Dementia(RCRD)	認知症作業療法
9	横浜臨床病態栄養リハビリテーション研究会 (Y-Basis)	内部障害領域 (代謝疾患)
10	一般社団法人 日本ハンドセラピィ学会	手外科領域の作業療法・ハンドセラピィ
11	認知症のある人の活動の質を高める研究会	高齢期・認知障害
12	循環器臨床作業療法研究会	心臓リハビリテーション
13	クリニカルクラークシップに基づく作業療法臨床教育研究会	養成教育
14	一般社団法人 ICT リハビリテーション研究会	福祉用具
15	日本臨床作業療法学会	卒前・卒後教育
16	日本作業療法士協会 制度対策部 ICF 班	国際生活機能分類

*エントリー順に記載

表2 専門作業療法士セミナー

	専門分野
1	福祉用具
2	認知症
3	手外科
4	特別支援教育
5	高次脳機能障害
6	精神科急性期
7	摂食嚥下
8	訪問作業療法
9	がん
10	就労支援

および社会貢献の
実践をより高度な
視座で発展させる
ための重要な企画
となっている。本
会が認定した専門
作業療法士とは、
次の3つの役割
を果たす能力を
もっているとされ
ている。

(1) 専門作業療法士分野において、高い見識（物事を見通す優れた判断力）と優れた技術力（技術の向上・洗練と新しい技術の開発応用能力）によって卓越した作業療法を実践することができる能力

(2) 専門作業療法士分野において、困難な事例に対応できる能力

(3) 認定作業療法士のもつ能力を専門作業療法士分野で応用できる能力。すなわちその能力とは、作業療法士の実践能力を向上させるため教育能力、専門家集団の統率・指導を行う能力、専門知識および技術の向上並びに開発をはかるために実践の場における研究活動を行う能力

専門作業療法士がこれまで蓄積した知識、技術、経験などに基づくこれらのセミナーはたいへん楽しみである。ライブ配信によるセミナーに参加し学ぶもよし、会期中のオンデマンド配信を活用し、繰り返し学ぶもよし。専門作業療法士の実践の知に触れ、今後の方向性を見据え、将来の学びへとつながるものとなることを期待している。



障害のある人のスポーツへの多様な参加を支援するために

障害のある人のスポーツ参加支援推進委員会

第14回 東京パラリンピック競技大会への参加に向けた期待と準備 ②

前号に引き続き、本号ではパラ水泳チームへ同行する一般社団法人日本パラ水泳連盟の本山幸子氏に競技に関わることとなった経緯、東京パラリンピックへの参加に向けた苦労、期待などについてご報告いただく。

東京パラリンピック パラ水泳競技への参加に際して

一般社団法人日本パラ水泳連盟 本山 幸子

1. 障害者スポーツに関わることとなった経緯

学生時代、脳性麻痺児の水泳指導にボランティアで参加することになり、陸上では思うように動けなくても水の中で思い切って動けることの楽しさと、そのときの子供たちの笑顔に魅力を感じ、パラ水泳に関わり始めるようになった。今は、作業療法士という専門職の視点と水のもつ特性をうまく利用し、水泳コーチと協力して、選手のすそ野を広げること（普及）、頂点を高めること（競技力向上）、パラ水泳に関わる人材の育成、クラス分け、選手の健康面の維持管理、トレーニング、感染対策など、多角的多面的に関わっている。東京パラリンピックの開催が決まった際には、長年の関わりの集大成としても楽しみになった。

2. 東京パラリンピック参加に向けての準備と苦労

1995年プレアトランタパラリンピック大会に参加して以来、家庭の事情でしばらく海外遠征等は控えていたが、2018年より海外遠征への同行を再開した。2020年2月にメルボルンワールドシリーズに参加後、世界はコロナ禍に陥ってしまった。コロナ禍となってからは、競技団体のガイドライン作成

や強化選手の練習拠点であるナショナルトレーニングセンター（NTC）での感染対策に携わっている。医療現場での知識や前職で医療安全管理委員会の業務に携わった経験がとても役に立ったと感じる。

一番苦労したことは選手のクラス分けである。パラリンピックでは、大会参加に必須の資格判定にあたる「国際クラス分け」があり、選手は一定の要件を満たす必要がある。コロナ禍により東京パラリンピックが1年延期になったことで、クラスの有効期限切れなどによる再審査で、この国際クラス分けを受けなければならない選手が増えた。しかし、国際クラス分けを行う大会は次々に中止となり、日本代表推薦選手を選考する際にも、クラス分けの条件を満たせないなかの選考を余儀なくされた。国際クラス分けの条件を満たすためには海外遠征に行かなければならず、帰国後は2週間の自主隔離となり、通常は2週間で終わる遠征が、1ヵ月程度かかることになる。

さまざまな感染対策をとって、海外遠征や大会も実施している。これまで選手は開催を信じて、淡々と練習を積み、生活上もとても気をつけて日々過ごしてきた。感染拡大による医療圧迫などのことばを

聞くたび、選手も選手をサポートする我々も複雑な心境になったが、選手たちのパフォーマンスは多くの皆さんに感動や勇気を与えることは間違いない。そのため、今は肅々と感染対策を講じて関係団体と連携して、選手が練習成果を存分に発揮できるように尽力している。

3. 2度目の自国開催の東京パラリンピックに期待すること

1964年開催の東京パラリンピック大会のレガシーの一つは、障害者スポーツセンターなど、障害がある方の専用・優先施設を開設することだったが、2020年東京パラリンピックのレガシーは、障害があってもなくても、身近にあるプールで水中運動や水泳ができるようになることだと思う。この実現には多大な困難もあると思うが、日本パラ水泳連盟での活動を通じて、また個人的にも取り組んでいきたいと思う。



前腕切断の背泳ぎ 日本パラ水泳連盟提供（撮影 X-1）

【ダンスバトルイベント中止のご報告】

COVID-19 感染拡大のため 2021 年 9 月へ開催を延期したダンスバトルイベントは、COVID-19 の収束および一般のワクチン接種の普及が開催までに見込めないこと、また日本作業療法学会（仙台）期間中に開催を予定していたため、学会がオンライン開催になったことを受けて、残念ながら、開催を中止することといたしました。

当事者が望む生活を実現するための作業療法のあり方 2020年度取り組み報告

(全3回)

第1回 概要、内容① 精神科作業療法計画の調査について

制度対策部

日本作業療法士協会では第三次作業療法5ヵ年戦略の具体的行動目標に「精神障害にも対応する地域包括ケアシステムに寄与する作業療法のあり方を学術的観点からも検討し提示する」ことを掲げ、2019年度事業として、外部有識者と協会の委員からなる「精神障害にも対応する地域包括ケアシステムに寄与する作業療法のあり方検討委員会」を設置し、精神科医療における作業療法の現状と課題と今後取り組むべき事項を明らかにすることとした。具体的には、①精神医療における作業療法の現状での診療報酬上の課題と今後の取り組むべき事項の明確化、②第7次医療計画で提示された14疾患等の作業療法の取り組みの特徴の整理を挙げ、医師からなる外部有識者を交えた委員会を開催した。①については2019年度末に「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムに寄与する作業療法のあり方委員会報告書」として取りまとめ、その内容と会員からの意見については本誌でも報告した通りである。

今号から3回に分けて2020年度の取り組みについて報告書から抜粋してお伝えする。

なお2019年度の報告書は会員ポータルサイトのライブラリに、2020年度の報告書は同じくポータルサイトの協会からのお知らせ(6月11日付)に掲載している。未読の方はぜひご一読いただきたい。

「当事者が望む暮らしを実現するための」精神科の作業療法

まず検討会名称についてであるが、精神障害に関わる大多数の作業療法士の業務の現状に即した提案をするため、「当事者が望む生活を実現する精神科の作業療法のあり方」とした。精神障害者は障害がありながらも一人ひとりの人生や生活があり、家族の脆弱さや環境との関わりのなかで生じるストレスなどをきっかけに入院に至る。人の生活は365日24時間の生活行為の連続で成り立っており、作業療法士はその連続する生活行為に対して治療を行う職種である。そのため、入院だけではなく、退院後の生活の場、元々の地域生活の場を視野に作業療法を実施することが重要である。しかし、精神障害に関わるほとんどの作業療法士が医療機関に所属し、院内の精神科作業療法またはデイケアに従事している現状がある。「地域包括ケアに貢献する」と言うと、地域のなかで活動することがまずイメージされ、「地域包括ケアに寄与する作業療法のあり方」という名称からも、地域における作業療法の展開が本事業の主題と捉えられたと考える。しかし、医療機関もまた地域包括ケアを構成するサービス提供機関の一つである。医療機関の作業療法士による地域包括ケアへの貢献として、それが医療機関のなかでの関わりであったとしても、入院時の精神症状に焦点を当てるのではなく、そもそものその人の暮らしと「望む生活」に焦点を当て、入院中に今回の入院のきっかけとなったストレスに対し、退院後の地域生活を視野に具体的に治療することが求められると考える。私たち多くの作業療法士が今、具体的に取り組めることとして、「当事者が望む生活」の実現に向けての作業療法のあり方を検討することとした。

精神科作業療法計画の臨床的実践の可能性

2019年度報告書では「地域包括ケアに寄与する精神科の作業療法のあり方」を臨床の現場で実現するための考え方を精神科作業療法計画の立て方として提示した。2020年度は、その考え方に基づいた精神科作業療法計画の臨床的実践について、実際に試行し、可能性について検討した。また併せて、精神科作業療法計画作成の効果を検討するための評価の活用についても検討を行った。その調査について紹介する。

表1 介入前後の WHO-DAS の変化

	初回時 (N=15)			退院時 (N=15)			
	平均値	標準偏差	平均値の標準誤差	平均値	標準偏差	平均値の標準誤差	P 値
総得点	90.8	30.2	7.8	81.7	34.0	8.8	0.73
値域別スコア							
D1 認知	13.7	6.3	1.6	14.6	7.1	1.8	0.22
D2 可動性	10.0	3.8	1.0	8.9	4.4	1.1	0.41
D3 セルフケア	8.1	4.3	1.1	6.1	2.7	0.7	0.06
D4 人との交わり	12.9	4.9	1.3	12.3	6.6	1.7	0.87
D5 生活	22.1	8.9	2.3	18.7	10.1	2.6	0.24
D6 参加	23.9	9.4	2.4	21.1	10.1	2.6	0.43

1. 対象

作業療法士が働く全国の医療機関に協力を要請し、15 医療機関から同意を得、36 名の作業療法士に協力をいただいた。調査対象は、2020 年 9 月最終週から 10 月最終週までに精神科病棟に入院した患者である。

2. 実施方法

ICF コードを活用した精神科作業療法計画の内容（入院初回時のもの）や入院後の介入経過、退院時の状況について調査した。また、包括的支援アセスメントおよび、WHO-DAS 2.0 について、作業療法初回時・退院時に評価した。

3. 結果

精神科作業療法計画の内容については、①対象者と合意した目標は「生活及び生活全般に関すること」が最も多く、②その目標を達成するためのアセスメント項目としては「d240 ストレスとその他の心理的要求への対処」が最も多く、③それらから焦点化した ADL/IADL の支援課題は「d240 ストレスとその他の心理的要求への対処」が最も多く、④実施した作業療法プログラムには「ストレス等の対応」「余暇活動」が多い、という特徴が ICF コードにより示された。ICF コードを活用することにより①～④の精神科作業療法の過程を可視化できたと考える。

退院時に実践した連携としては、口頭での申し送り、退院後支援機関に書面で申し送り、退院前訪問の順に多かった。入院前後の生活場所としてはいずれも自宅、グループホームが多く、利用サービスでは、退院後は就労継続支援 B 型や地域活動支援センターなどの福祉サービスが減少し、精神科デイケアおよび訪問看護などの医療系サービスが増加していた。

包括的支援アセスメントの結果については、経済的なことや家族のこと、日中活動などは入院中から積極的に外部支援利用を検討するため、入院時よりも退院時の方が「支援を受けている」項目が増加する傾向がある。また、症状に関することは入院治療により改善し、入院時よりも退院時の方が「支援を受けていない」項目が減少する傾向があった。

介入前後の WHO-DAS 2.0 の変化としては、有意差はないものの初回時に比較して退院時には改善が見られた。特にセルフケアの項目で改善が認められている。作業療法は対象者の生活行為の改善に貢献できる可能性が示唆された（表 1）。

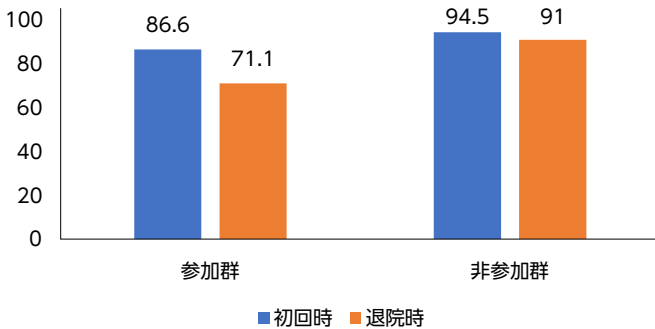


図1 OTのカンファレンス参加の有無によるWHO-DASの変化

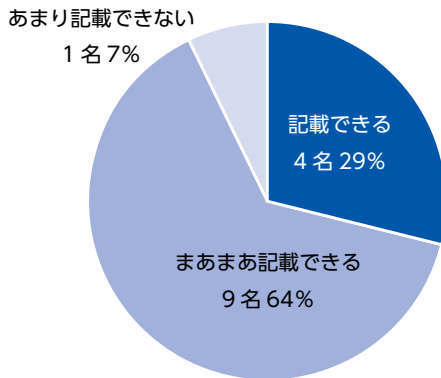


図2 ICFを活用して回復すべき課題(作業療法の課題)を記載することは可能だと思うか

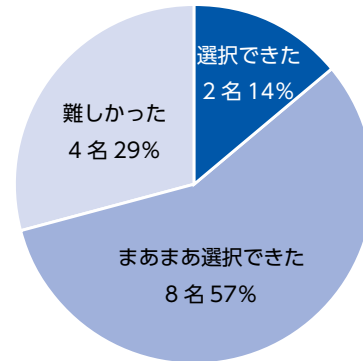


図3 ICFを活用したプログラム分類から、日ごろ実施しているプログラムを選択することができたか

WHO-DASの評価が可能であった15名について、入退院時ともに他職種のカンファレンスに作業療法士が参加した群を参加群(n=7)、入退院時のいずれかあるいは全くカンファレンスに参加できなかった群を不参加群(n=8)として、WHO-DASの変化を検討した結果、参加群は不参加群と比較して、スコア改善が大きい傾向があった(図1)。

4. ICFを活用した精神科作業療法計画について(参加者の感想)

(1) 活用について

今回ICFを活用し、精神科作業療法計画のマネジメントプロセスを可視化した。初めての試みであり、実施者に使用に関するアンケートを行った。

ICFを活用して回復すべき課題(作業療法の課題)を記載することは可能かという問いについて、9割以上の者が可能だと答えていた。また、ICFを活用したプログラム分類から、日ごろ実施しているプログラムを選択することができたかとの問いについては、7割の者が選択できたと答えていた。ICFを活用した精神科作業療法計画の考え方については、概ね活用できるものとする(図2、3)。

表 2 ICF で精神科作業療法計画を作成するうえでの課題

精神障害をアセスメントするうえで ICF を活用することは、精神障害を理解するうえで有効であると思う。	13
アセスメントという考え方を理解することが必要であると思う。	9
ICF を活用するには、その理解のため、座学による研修が必要である。	7
ICF を活用するには、その理解および、精神障害者の症状と ICF のマッチングをするために、On Job Training の場が必要である。	6
ICF を活用することで精神障害を理解することが容易になると思う。	5
ICF コードについて馴染みがないため、その理解や解釈が難しく、臨床での活用は難しいと思う。	4

(2) ICF で精神科作業療法計画を作成するうえでの課題

ICF で精神科作業療法計画を作成するうえでの課題では 31 名のうち 13 名（約 4 割）が取り組みは有効であると答えていた（表 2）。

5. 今後について

ICF コードを活用することにより精神科作業療法の過程を可視化することができたことから、ICF コードの活用は精神科作業療法計画の標準化に有効である可能性が示唆された。

今回、主に精神科作業療法計画を作成していくうえで ICF の活用による標準化の可能性について調査したため、疾患や家族背景、年齢、性別など事例の特性等の分析をしていない。今後は、対象者数を増やし、疾患別に細分化した属性などの分析も踏まえ、事例の蓄積によるデータ解析を進めていきたい。その取り組みを通して、ICF コードを活用した精神科作業療法計画にて行い、標準化を進めていく必要があると考える。

次号では、作業療法士養成施設に対して行った精神障害領域教育調査の結果を中心に報告する。

制度対策部 介護保険対策委員会

介護保険においてエビデンスに基づいた自立支援・重度化防止等を進めるため、2021年度から「科学的介護情報システム（Long-term care Information system For Evidence；LIFE）」の運用が開始された。制度対策部では、科学的介護の理解と浸透を図るため LIFE に関する説明会を 2021年6月26日（土）にオンラインで開催した。講師に木下翔司氏（厚生労働省老健局老人保健課高齢者リハビリテーション推進官）を迎え 435人（介護保険対策委員会委員、理事含む）が参加した。参加申込者の携わる介護保険サービス種別割合は図1のとおりである。

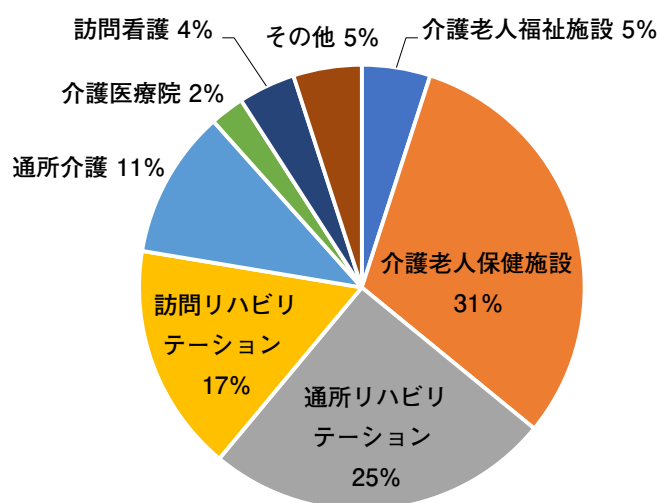


図1 参加者の携わる介護保険サービス種別割合

説明および質疑応答

当日の資料については協会ホームページの会員向け情報の介護保険情報に掲載している。また厚生労働省のホームページにも「科学的介護」というページに情報がまとめられているので参照されたい。

木下氏からは、現在の介護保険を取り巻く状況、科学的介護の検討会からの経緯も含めとても丁寧に説明をいただいた。LIFE 導入にあたってはあらゆる介護サービス計画の整合性を図る必要性があり、相当な苦労があったことが推測された。

LIFE 導入の目的は、各サービス事業所で PDCA サイクルを回して、ひとりひとりの利用者へより質の高いサービスを提供するために、提供しているサービスについて適宜検討できようにすることであ

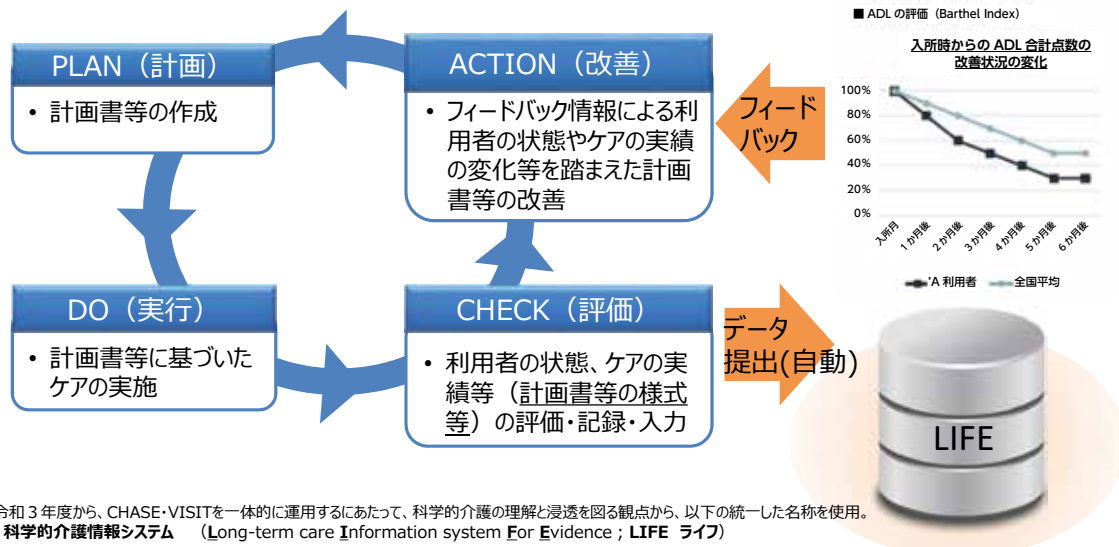
る。LIFE を活用することで、リハビリテーションやケアが適切であるか、もっと違う視点が必要か、かつ事業所自体についても全国との比較により客観的に経営やサービスのあり方はどうか、職員の質はどうかなど、検討の材料を得ることができる。それによって介護サービスの質の評価と科学的介護の推進へ結びつけることができるのではないだろうか。

質疑応答では、科学的介護の指標に利用者の QOL や満足度が今後含まれるのか、データのフィードバック範囲や市町村によるデータ閲覧の有無、VISIT のように目標と提供されたサービスとの関係性へのフィードバックがあるのか、データ入力に労力をかけるだけのメリットが事業所にとってあるか、といった質問が挙げられた。

LIFE(VISIT・CHASE)による科学的介護の推進(イメージ)

社保審一介護給付費分科会
第185回
(R2.9.14) 資料

- 計画書の作成等を要件とするプロセス加算において実施するPDCAサイクルの中で、
 - ・ これまでの取組み等の過程で計画書等を作成し、ケアを実施するとともに、
 - ・ その計画書等の内容をデータ連携により大きな負荷なくデータを送信し、
 - ・ 同時にフィードバックを受けることにより、利用者の状態やケアの実績の変化等を踏まえた計画書の改善等を行うことで、
 データに基づくさらなるPDCAサイクルを推進し、ケアの質の向上につなげる。

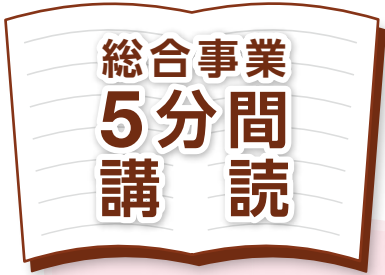


厚生労働省ホームページ「科学的介護 2科学的介護情報システム (LIFE) について」より
<https://www.mhlw.go.jp/content/12301000/000753792.pdf>

まとめ

今回は急な開催案内であったにもかかわらず、介護保険領域だけでなく学校養成施設の教員や医療保険に携わる会員からの参加もあり、当初想定していた100名という定員を大幅に上回る申し込みがあった。実際に介護保険サービスでLIFEについても、介護保険領域における作業療法の効果を示す研究に役立てることを目的として関心を寄せた会員も一定数いたのではないかと考える。

講師へは事前に寄せられた会員からの質問や興味関心事項を伝え、それらを踏まえた講演を行っていただいた。質疑応答のなかでは、作業療法士への期待と、介護保険において作業療法士がより良いサービスを提供できるようになるための示唆をいただいたと考えている。今後も、高齢者の尊厳を保持し自立した日常生活を支援するという介護保険の理念に対して、作業療法が科学的に効果を示しながら貢献できるよう内外に働きかけていきたい。



「講読」とは「書物を読んで、その意味・内容などを解き明かすこと」とあります。作業療法士の実践を知り、自分なりの総合事業のあり方を考える道具としてご活用ください。

西宮市リハビリテーション専門職によるケアマネジメント支援事業

～ケアマネジャーと共有する生活行為向上の視点～

医療法人尚和会 宝塚リハビリテーション病院

小南 陽平

1. はじめに

筆者は回復期病院で勤務している傍ら、2017年度より宝塚市をはじめとした兵庫県阪神圏域における地域ケア会議、住民運営の集いの場などの事業に関わっている。事業へ関わることとなったきっかけは、一般社団法人兵庫県作業療法士会でのブロック委員活動であった。現在は兵庫県作業療法士会地域ケア推進委員会の担当理事として、地域包括ケアシステムへの作業療法士参画に向けた取り組みを行っている。

本稿では兵庫県阪神圏域で先駆的に自立支援型地域ケア個別会議を展開した西宮市が2018年度から始めたリハビリテーション専門職によるケアマネジメント支援事業について紹介し、事業における作業療法士の役割について述べる。

2. 西宮市の紹介

西宮市は兵庫県の南東部、大阪・神戸両市のほぼ中間に位置する中核市である。人口は48万3,744人（2020年3月31日時点の住民基本台帳による）で兵庫県内市町第3位となっている。そのうち、高齢者人口は11万6,408人で高齢化率は24.1%と兵庫県内の市町では最も低い。しかしながら、医療介護需要予測指数は2020年以降に軒並み上昇傾向となる予測が立てられており、全国平均値を大きく上回る可能性があると推測されている。

西宮市が実施する事業へのリハビリテーション専門職の関わりとしては、主に①西宮いきいき体操、②自立に向けたケアマネジメント会議（自立支援型地域ケア個別会議）、③リハビリテーション専門職によるケアマネジメント支援事業の3つが挙げられる。

3. リハビリテーション専門職によるケアマネジメント支援事業の概要

本事業は、自立に向けたケアマネジメント会議から派生した事業である。目的は、リハビリテーション専門職の支援によりケアプラン作成者がよりよいケアマネジメントを行えるようにすることである。対象者は、自立に向けたケアマネジメント会議の事例提供者である地域包括支援センター職員およびケアマネジャーである。実施方法は、西宮市が会議に参加するリハビリテーション専門職の勤務先法人に業務委託し、法人内のリハビリテーション専門職を派遣するかたちをとっている。

実施内容は以下の手順に沿っている。自立に向けたケアマネジメント会議が開催される。ケアプラン作成者へ支援の必要性が生じた場合且つ本人の同意が得られた場合に開始が決定される。その会議に参加したリハビリテーション専門職のうち、1名が後日に同行訪問を行う。同行するリハビリテーション専門職は、専門的見地からその方の心身状況および環境等を確認し、生活課題の原因分析を実施する。そして、ケアプラン作成者へ利用者にとってより良いケアマネジメントとなるように具体的な助言・提案を行う（支援は1回あたり概ね1時間程度）。同行訪問実施後、同行したリハビリテーション専門職は事業実施報告書を作成し、西宮市へ提出する（図1）。

4. 作業療法士の役割

筆者は本事業開始以降、10件ほどの同行訪問を経験した。本事業において最も留意しなければならないことは、対象者に直接身体接触を伴う関わりをするのではなく、ケアプラン作成者であるケアマネ

リハビリテーション専門職によるケアマネジメント支援事業 実施報告書

西宮市長あて		事例番号	報告日	年 月 日
実施者	法人名			
	事業所名			
申込者	担当者名	連絡先電話番号		
	事業所名			
利用者	氏名			
	住所	西宮市		
訪問	訪問日時	年 月 日 (時 分 ~ 時 分)		
	訪問先	<input type="checkbox"/> 利用者住所 <input type="checkbox"/> その他 (西宮市)		
評価結果 予後予測 助言・提案内容要旨 (箇に何を伝えたか)				
事故	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり-別途報告が必要			
苦情	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり-別途報告が必要			
備考				

図1 西宮市リハビリテーション専門職によるケアマネジメント支援事業実施報告書

ジャーへより良いケアマネジメントを行えるよう具体的な助言・提案を行うことである。そのため、筆者は可能な限り同行訪問を実施する前にケアマネジャーとの事前打ち合わせを行う時間を設けるようにしている。同行訪問すると、ケアマネジメント会議の情報と比較して本人の状況が変化していることが多々ある。まずはその変化を把握し、会議時に挙げられた生活課題の再確認とケアマネジャーが同行訪問の前に作業療法士に対して確認したいとしていた内容等の共有を行うようにしている。

打ち合わせができた段階で同行訪問を実施する。筆者は同行訪問時、本人・家族・ケアマネジャーから聴取を行い、生活行為向上マネジメントの生活行為工程分析である「企画準備力」「実行力」「検証完了力」の3つの工程分析に基づいて生活課題を分析するように心がけている。そのうえで、本人がどこまでセルフマネジメントできているかを把握し、自らが現状にて困難と判断している工程、必要な支援があれば今後自立すると期待できる工程を重点化し、それらが現行のケアマネジメントプランや本人の生活のなかに課題として取り込まれているかどうかを確認する。確認後は、ケアマネジャーに対し作業療法士の立場で分析した生活課題と今後の取り組みの提案を伝え、ケアプランに組み込むことが可能かを協議する。また、必要に応じて本人や家族も含めて、作業療法士の立場からセルフマネジメントに

つなげていける助言・提案を伝え、その内容はケアマネジャーとも共有する。

5. 成果

2019年度に実施された自立に向けたケアマネジメント会議187件(延べ)のうち、本事業として同行訪問を行った件数は41件だった。西宮市がプラン作成者(ケアマネジャー)を対象に「事業を利用してどうだったか?」という質問を5段階評価で問うたところ27件の回答(回答率65.9%)が得られ、すべての回答が「とても役立つ、やや役に立つ」という結果であった。また、訪問をきっかけに著しく意欲向上、活動性が増した等の事例も複数報告あり、ケアマネジメント会議の3ヵ月後の振り返りにおいても、初回検討時に挙げられた課題が解消され、さらなる自立に向けたケアプランへ移行している事例も見受けられた。

6. おわりに

COVID-19感染拡大に伴い、兵庫県は緊急事態宣言発令対象地域となった。この期間は本事業も中止を余儀なくされ、再開後も業務委託された勤務先法人がリハビリテーション専門職派遣を断念するといった事例も発生し、参画できるリハビリテーション専門職の確保が困難となる圏域も発生した。幸い筆者の所属する法人では、感染対策を徹底することを条件に事業参画許可が出たため、同行訪問の際にはCOVID-19感染予防目的として、事例・家族にも同意をいただき、同席者全員にマスクを着用していただいた。また、療法士はゴーグルも着用し、消毒液を持参して接触前後の手指消毒を徹底しつつ、本事業を継続することができた。

(今回の執筆にあたり、快く情報提供にご協力いただいた西宮市福祉のまちづくり課に心より感謝を申し上げます。)

地域包括ケアシステム推進委員会

佐藤孝臣 理事より一言

ケアマネジメント支援において作業療法士の同行訪問は各自治体で増加している。そのなかで作業療法士の役割は小南氏が述べているように「生活課題の分析」である。間接支援であり時間も限られているため高い技術が必要となる。しかし今後は地域ケア会議から同行訪問での支援へとシフトするであろう。つまり「会議から在宅」へ関わりは変化している。本稿はその節目の報告であり、その要望に応える人材の育成が急務である。

調査のお願い（その1）

白書委員会

● これまでの掲載内容

① 「作業療法白書」のこれまでとこれから（第105号 2020年12月）

過去7冊の「作業療法白書」の内容を概観すると、5年ごと（when）に、日本作業療法士協会（who）が、作業療法の実態、根拠資料（what）を、一般国民や関係諸氏（whom）に、作業療法白書（where）で、報告する（how）ことが基本方針となっている。

② 一人一人の作業療法士が「作業療法白書」をつくる（第106号 2021年1月）

白書は作業療法の過去5年間の変化、現状、今後5年間を見据えた展望を提示する。また、都道府県別のデータも集計することで、会員が臨床活動に役立てたり、各士会が都道府県や市町村と連携する際に活用したりすることも想定している。このためには一人一人の作業療法士に正確な情報を提供していただくことが不可欠で、それが「作業療法白書」をつくることにつながる。

③ 今までの「作業療法白書」を振り返る～その使い方～（第107号 2021年2月）

これまでの「作業療法白書」に共通の章立てを確認し、そのデータをさまざまに活用し得ることを、ICFの視点で捉え直した場合を例に示す。作業療法士全体の動向だけでなく、都道府県別のデータを用いてさまざまな場や目的のために役立てていただくとよい。

④ 今回の白書は違う！～「白書」企画の意図～（第109号 2021年4月）

「作業療法白書2020（仮称）」は、「使える白書」を目指して、「この先5年間を展望する」こと、そのためにも「根拠となる資料（データ）を収集する」こと、そして会員一人一人が作業療法や作業療法士が社会的に置かれている実情を理解できることを目的にする。

⑤ 調査データの信頼性を高めるために（第110号 2021年5月）

根拠資料としての信頼性を高めるためには、何よりもアンケート（調査）の回収率が勝負であり、調査の100%の回収を目指している。また、施設単位の調査と並んで、会員一人一人が会員ポータルサイトにおいてご自分の正確な情報を登録していただくことが重要である。

⑥ 白書調査データの活用～都道府県士会の場合～（第111号 2021年6月）

今までの白書は、全国的な集計結果のみを公表してきた。しかし自治体が運営する事業に参画する作

業療法士が増え、地域包括ケアシステムの構築を含め都道府県や市町村とのつながりの重要性が高まっていることから、都道府県ごとの集計も行い、調査結果（データ）を地域活動にも利用できる可能性を広げていく。

⑦ 白書はこのように使われている！（第112号 2021年7月）

「作業療法白書」を、これまで誰がどのような立場で、誰に対して、どのような意図をもって、どのような場面で使ってきたか。ここではおもに協会が、省庁や他団体に贈呈したり、渉外活動で活用したり、他の資料と組み合わせたりしてきたことを例示しているが、都道府県士会や個人としても使い方にはさまざまな広がりが可能である。

● 今後のスケジュール

白書のアンケート調査は会員所属施設単位で実施する。9月に書面で調査依頼を各施設にお届けするが、回答は専用ウェブサイトで入力していただく。調査は、「2021年10月7日（何らかの都合で実施できない場合は、前後の日）」を基準日とし、この時点で施設や人員の状況、この日の臨床活動の状況についてご回答いただく予定である。そのため、調査依頼に同封されている調査内容を事前にご確認いただき、「正確な情報」を回答できるようご準備いただきたい。

なお、回答の締切（入力期限）は11月中旬を予定している。専用ウェブサイトでの回答は、入力途中での中断・保存、後日途中から再開することも可能としているので、入力すべき内容を確認しながら随時入力作業を進めることもできる。正確に、しかし期限までに取り組んでいただければ幸いである。

今後のスケジュール（予定）

2021年9月	調査項目の送付（施設ごとにアンケートを送付）
2021年10月	「10月7日」を基準日として調査を実施
↓	調査の回収（web回答）・集計
2021年12月	目次と執筆者の決定
↓	
2022年4月	執筆原稿の締め切り
2022年6月	原稿の編集・校正
2022年7月	原稿完成
↓	印刷
2022年9月	発刊



国際部 Information

今回は、国際部員の並木千裕氏が、英国で、2020年4月から作業療法士として英国で働く大木いずみ氏（West Suffolk Hospital：ウェストサフォーク病院）に現地での経験談をインタビューしたので報告する。

英国の急性期病院で経験した作業療法

ウェストサフォーク病院 大木いずみ
（聞き手）国際部 並木 千裕

Q1. 英国での作業療法士の資格取得について

3～4年間の学士課程または2年間の修士課程（他分野の学士であっても医療福祉の従事歴を考慮され入学許可が得られる）を経て取得することができる。修士制度があるため、日本に比べて他分野を経験した作業療法士が多い印象がある。また、2年ごとの更新制度があり、英国ではCPD（Continuing Professional Development）という言葉をよく使うが、更新の際にはCPDを達成できているかを評価され、作業療法の質を一定に保っている。



ウェストサフォーク病院整形外科チームと大木氏

Q2. CPDとは何か？

CPD自体は一つ概念で、日本語では自己研鑽にあたる言葉である。これは作業療法士だけでなく、ほかの医療職種にとっても重要なことである。研修会や学会への参加、文献レビュー、学生指導など方法はさまざまだが、もちろん自分の好きなことだけを追求すれば良いわけではなく、英国あるいはNHS（National Health Service/国民保健サービス）の理念・方針に従って、根拠に基づいた最新の知識を身につける、クライアントにとってより良いサービスを提供するための技術・知識の研鑽でなくてはならない。英国作業療法士協会のホームページではCPDを計画・実行するための指針が示されており、職場でも上司との面接のなかで相談が可能である。

Q3. 作業療法士が働く場所について

現在働く急性期病院にはEarly Intervention Team（EIT）という仕組みがあり、作業療法士も含めた医療者チームが救急で来た人を入院か自宅療養かを48時間以内に判断する。これによって過剰な入院を防ぐことができる。救急連絡をもらって自宅にチームが訪問する場合もある。そのほか、リハビリテーション専門病院や訪問リハビリテーションも多い。

Q4. 作業療法士の役割や仕事内容について

現在働く急性期病院では身体機能・認知面をアセスメントし、福祉用具などを含めた環境・サービス調整を行い、安全な退院へ導く。日本と違い医師の処方不要で、新規の入院があればカルテでの情報収集やスクリーニング評価を行い、リハビリテーションの介入の判断を作業療法士が自ら行う。作業療法士は退院に向けて用具の選定やサービス調整を行う。それが不十分な場合、退院後のクレームにもつながるため、とても責任のある仕事である。英国には作業療法アシスタントという位置付けの職もある。生活動作練習をクライアントと一緒に作業療法士が行う場合もあるが、実際に行うのは作業療法アシスタントがほとんどである。作業療法アシスタントは作業療法士の指示の下に行動するが、どこまで実際の臨床を行うかはアシスタントのもつ資格やレベルによってさまざまである。

Q5. 日本の作業療法士として働いたあと、現在英国で働き始めてからの発見や驚きについて

これまでに話した役割や仕組みの違い以外に、臨床現場では福祉用具の使用がとても活発である。基本的にNO LIFTの考えが定着しているが、移乗する際に中等度介助以上で行うことはまずない。当院では床走行式電動リフトやスタンディングリフト・サラステディ¹などをよく使う。

¹ 日本でスタンディングリフト・サラステディを取り扱っているWEBページ
<http://www.hello-with.com/publics/index/77/>



子ども向け Web コンテンツ 『作業療法って何？ オーティクんと学ぶ作業療法見学ツアー』 のご紹介

広報部

近年、都道府県士会などから、「将来、なりたい職業」に作業療法士を選択肢として認識してもらうのであれば、小学生・中学生の段階でアプローチすべきだとの声が寄せられていた。

広報部としても『13歳のハローワーク公式サイト』のサポーターになるなど、対象者に向けて事業を継続してきたが、このたび、初の子ども向け Web コンテンツを作成した。



「オーティクン」の誕生は、本誌109号（2021年4月15日発行）で紹介したパンフレット「作業療法ってなんですか？」の打ち合わせでのこと。業者から提示されたパンフレット案の中にオーティクンがいた。

協会の一般の方を対象にしたパンフレットとしては採用できないが、このままボツにするのは惜しい…。これをほかの広報媒体に使えるか。コロナ禍でなかなか施設見学もできない、イベントを開催して直接、一般の方に向けて広報することもままならない状況が続いている。一方で現在、小学生には、

文部科学省の「GIGA スクール構想」からパソコン（タブレット端末）が配られている。だったら、Web コンテンツで施設見学ができればよいのではないか、オーティクンというキャラクターが社会科見学をするというストーリーは Web 上で展開できるのではないかと広報部会議で提案したところ、Web コンテンツとして作成するのであれば、今、はよりのjQueryを使ってカルーセルで表現する方法（スクロールすると絵が動く仕様）にしてはどうか、などと検討を重ね、オーティクンの Web サイトでのデビューが決まった。



内容はパンフレット『作業療法ってなんですか？』に沿っているが、より子どもに向けたものとして見直した。漢字が読めるかどうか、意味はわかるか、タップをするところがわかるかなどの検証は、部員・事務局員・業者の対象年齢のお子さんをもつ方々にお願ひし、併せてパソコン、タブレット端末、スマホなどでの見え方の検証も行った。

すでにホームページでは、7月16日（金）から公開をしているが予想以上にたくさんの方が見てくださっており、SNSでも多くシェアしてもらっている。作業療法士にとっても「作業療法を分かりやすく説明できる」と好評なようだし、作業療法士以外の方からも、「とても素敵なお仕事ですよ!! たくさんの方に知っていただいて活躍して欲しいです」という嬉しい書き込みがあった。将来、「オーティクンを子どもの時に見て、なりたと思った」という作業療法士が生まれることを夢見つつ、まずは、もっとたくさんの方に作業療法を知ってもらえる、息の長いコンテンツに育てていきたいと考えている。



こんなふうに使ってははどうでしょう？

たとえば、小学校等から「職業紹介」の講義を頼まれたときの資料として。

子どもから「お父さんやお母さんってどんな仕事をしているの?」と聞かれたときに。

お子さんのお友だち、親戚などから「作業療法士ってどんな仕事なの?」と聞かれたとき。



自分で楽しみながら画面を動かして、オーティクんと社会科見学が行えると思うし、このサイトを介して作業療法について知るコミュニケーションが生まれると良いと考えている。

これから、広報部ではこのサイトを広めるための検討を継続して行っていく。皆様からも忌憚ないご意見をいただきたい。



『作業療法って何? オーティクんと学ぶ作業療法見学ツアー』

ご意見は、協会広報部担当

E-mail public-relation@jaot.or.jp まで。

生涯教育制度に関する重要なお知らせ

教育部 生涯教育委員会・教育関連審査委員会

2021年度 専門作業療法士および認定作業療法士の資格認定について

2021年度の専門作業療法士資格認定審査および認定作業療法士資格再認定審査を、次の要領にて実施いたします。該当する会員の方は、準備ならびに必要な手続きをお願いいたします。詳細は協会ホームページをご参照ください。

2021年度 専門作業療法士 資格認定審査実施要項
申請資格
各分野の取得要件 2 (手引き参照) および以下の取得要件を満たしていること。または読み替え要件および以下の取得要件を満たしていること。 ①作業療法士免許を有すること。 ②当該年度の年会費を納めていること。 ③申請時および試験時ともに認定作業療法士であること。
申請の流れ
1. 協会ホームページより、「2021年度専門作業療法士資格認定審査申請書」をダウンロードし、必要事項を記入する。また、写真を貼付する。 ↓ 2. 添付書類等を準備する。 【添付書類】各分野の手引きにある申請に必要な書類を用意する。 ①作業療法士免許証の写し、②当該年度のWeb 会員証（日本作業療法士協会）の写し、③認定作業療法士認定証の写し（有効期限をご確認ください）、④専門作業療法士研修受講履歴（会員ポータルサイトから印刷してください）、⑤所属士会の会員歴証明証、⑥分野別申請書類一式、⑦読み替え申請書、⑧審査料（5,000円）の振込済み証明書の写し、⑨申請者の返信先明記済の94円切手を貼付した返信用封筒（長形3号） *振込先 郵便振替口座：00120-7-146118 生涯教育講座 通信欄に必ず会員番号を記載してください。 ↓ 3. 2021年9月1日（水）～10月31日（日）（当日消印有効） の期間に、上記申請書に添付書類等をそえて、協会事務局へ郵送する（レターパックプラス520を推奨）。
専門作業療法士取得試験資格者の決定について
1. 教育関連審査委員会にて、11月中旬に申請書類の確認をいたします。 ※申請書類の内容で確認が必要な場合は個別にご連絡をし、指定する期日までに書類の再提出をお願いすることがあります。 2. 専門作業療法士資格取得試験の資格を満たす該当者には、11月中旬に受験票を発行します。
審査概要
1) 日 時：2022年2月12日（土） 12：00～14：00 （11：00開場、11:50オリエンテーション） 2) 会 場：日本作業療法士協会事務局（東京都台東区寿1-5-9 盛光伸光ビル）（予定 変更になることがあります） 3) 審査料：5,000円（申請時に振込【振込先】郵便振替口座：00120-7-146118 生涯教育講座） 4) 方 法：筆記試験（四肢択一）120分 5) 当日持参するもの：受験票、時計、筆記用具 （※運転免許証等、本人を確認できるものをご持参ください。確認する場合があります。）

ご注意！ 専門作業療法士 読み替えによる取得の申請に関して

専門作業療法士 訪問作業療法分野の読み替え申請は、今年度が最後です。読み替え要件を満たす会員の方は、必ず申請いただきますようお願いいたします。詳細は、協会ホームページの専門作業療法士取得の手引きをご確認ください。

参考：読み替え期間

- ① 訪問作業療法：2021 年度まで
- ② がん：2023 年度まで
- ③ 就労支援：2024 年度まで

2021 年度 認定作業療法士資格再認定審査（試験）の実施要領

申請資格

- ① 作業療法士の免許を有すること。
- ② 日本作業療法士協会正会員かつ都道府県作業療法士会正会員であり、それぞれの会員歴が通算 5 年以上であること。
- ③ 認定作業療法士の資格を喪失したもの。
※今年度の資格再認定審査を受験できる者は、認定作業療法士を失効した会員で認定作業療法士の有効期限が 2019 年 12 月 31 日までであった会員である。
(注意：更新の猶予期限 (2 年) 内にいる方は受験できません。)
- ④ 厚生労働省指定臨床実習指導者講習会を受講したもの。
(注意：厚生労働省指定臨床実習指導者講習会の受講を必須としていますので、臨床実習指導者研修 (中級・上級) 等の修了による臨床実習指導認定は含まれません。)
- ⑤ 該当年度の年会費を納めていること。

申請の流れ

1. 「2021 年度認定作業療法士資格再認定審査申請書」をダウンロードし、必要事項を記入する。また、写真を貼付する。
[2021 年度認定作業療法士資格再認定審査申請書](#)
↓
2. 添付書類等を準備する。
【添付書類】①該当年度の電子会員証 (日本作業療法士協会) の写し、②所属士会の会員歴証明書、③認定作業療法士認定証の写し、④審査料 (20,000 円) の振込済み証明書の写し、⑤厚生労働省指定臨床実習指導者講習会の修了証の写し
↓
3. **2021 年 11 月 1 日 (月) ~ 12 月 10 日 (金)** (当日消印有効) 期間に、上記申請書に添付書類等をそえて、協会事務局へ郵送する。

* 審査料の振込先

郵便振替口座：

00120-7-146118 生涯教育講座

通信欄に必ず会員番号を記載してください。

審査概要

- 1) 日時：2022 年 2 月 12 日 (土) 12:00 ~ 14:00
(11:00 受付開始、11:45 オリエンテーション)
- 2) 会場：日本作業療法士協会事務局 (予定。変更になることがあります)
- 3) 審査料：20,000 円 (申請時に振込)
- 4) 方法：筆記試験 (四肢択一) 120 分
- 5) 当日持参するもの：受験票、時計、筆記用具
(※運転免許証等、本人を確認できるものをご持参ください。確認する場合があります)
- 6) その他：試験日当日の緊急連絡先：otdengon@yahoo.co.jp

認定作業療法士取得『臨床実践能力試験』の実施要項	
受験資格	
①認定作業療法士取得共通研修ならびに選択研修が修了していること。 ②申請時および試験時ともに基礎研修修了有効期限内にあること。 ③当該年度の年会費を納めていること。	
申請の流れ	
1. 生涯教育受講記録（手帳）の移行を終えていることを確認してください。 2. 協会ホームページより、「2021年度 認定作業療法士取得 臨床実践能力試験 申請書」をダウンロードする。 必要事項を記入し、写真を貼付する。 ↓ 3. 添付書類等を準備する。 【添付書類】 ①電子会員証（日本作業療法士協会）の印刷（年会費振り込みの郵便局等金融機関の領収証の写しでも可） ②上記受験資格①②が確認できる部分を会員ポータルサイトから印刷（詳細は協会ホームページに掲載します） ③申請者の返信先明記済の94円切手を貼付した返信用封筒（長形3号） ↓ 4. 2021年11月1日（月）～12月10日（金）（当日消印有効） の期間に、上記申請書に添付書類等をそえて、協会事務局へ郵送する。 ↓ 5. 受験票の発送 ↓ 6. 受験料の振込先（郵便振替口座 00120-7-146118 生涯教育講座） 通信欄に必ず会員番号を記載してください。 期日までに入金してください。遅れた場合には受験資格を失います。	
試験概要	
1) 日 時：2022年2月13日（日） 12：00～14：00（11：00開場） 2) 会 場：日本作業療法士協会事務局（予定。変更になることがあります。） 3) 受験料：5,000円 4) 定 員：30名（先着順） 5) 方 法：筆記試験（四肢択一／四肢択二）120分	

■注意：「認定作業療法士資格再認定試験」ではありません。



2021年度 協会主催研修会案内

COVID-19の感染拡大影響により、Web開催が中心となりますので、ご了承ください。
 開催が決定しているもの、調整中のものを下記に記載いたします。状況により変更があることもご承知おきください。
 最新情報はホームページをご確認ください。
 ※赤字は、前号からの更新・変更です。

認定作業療法士取得研修 共通研修			
講座名	日程(予定を含む)	開催地(予定を含む)	定員数
管理運営③	2021年8月28日(土)～2021年8月29日(日)	Web開催	45名
管理運営④	2021年9月25日(土)～2021年9月26日(日)	Web開催	45名
管理運営⑤	2021年10月23日(土)～2021年10月24日(日)	Web開催	45名
管理運営⑥	2021年11月27日(土)～2021年11月28日(日)	Web開催	45名
管理運営⑦	2021年12月25日(土)～2021年12月26日(日)	Web開催	45名
管理運営⑧	2022年1月29日(土)～2022年1月30日(日)	Web開催	45名
研究法④	2021年10月9日(土)～2021年10月10日(日)	Web開催	40名
研究法⑤	2021年11月13日(土)～2021年11月14日(日)	Web開催	40名
研究法⑥	2021年12月11日(土)～2021年12月12日(日)	Web開催	40名
研究法⑦	2022年1月8日(土)～2022年1月9日(土)	Web開催	40名

認定作業療法士取得研修 選択研修			
講座名	日程(予定を含む)	開催地(予定を含む)	定員数
身体障害の作業療法② 急性期から在宅までの対象者への作業療法を考える	2021年8月28日(土)～2021年8月29日(日)	Web開催	40名
身体障害の作業療法③ 急性期から在宅までの対象者への作業療法を考える	2021年9月4日(土)～2021年9月5日(日)	Web開催	40名
身体障害の作業療法④ 急性期から在宅までの対象者への作業療法を考える	2021年9月25日(土)～2021年9月26日(日)	Web開催	40名
身体障害の作業療法⑤ 急性期から在宅までの対象者への作業療法を考える	2021年10月9日(土)～2021年10月10日(日)	Web開催	40名
身体障害の作業療法⑥ 急性期から在宅までの対象者への作業療法を考える	2021年10月16日(土)～2021年10月17日(日)	Web開催	40名
身体障害の作業療法⑦ 急性期から在宅までの対象者への作業療法を考える	2021年11月27日(土)～2021年11月28日(日)	Web開催	40名
身体障害の作業療法⑧ 急性期から在宅までの対象者への作業療法を考える	2022年1月29日(土)～2021年1月30日(日)	Web開催	40名
老年期障害の作業療法③ 高齢者に対する作業療法	2021年8月21日(土)～2021年8月22日(日)	Web開催	40名
老年期障害の作業療法④ 高齢者に対する作業療法	2021年12月4日(土)～2021年12月5日(日)	Web開催	40名
精神障害の作業療法② 急性期～維持期の実践マネジメント(事例検討)	2021年12月4日(土)～2021年12月5日(日)	Web開催	30名
発達障害の作業療法② 幼児期から学童期の地域支援と家族支援	2021年11月13日(土)～2021年11月14日(日)	Web開催	30名

専門作業療法士取得研修			
講座名	日程(予定を含む)	開催地(予定を含む)	定員数
基礎研修:受講要件はありません。臨床経験や認定取得状況に関わらず、入会后臨床1年目から受講可能です(高次脳機能障害を除く)。			
福祉用具 基礎Ⅲ	調整中	Web開催	40名
認知症 基礎Ⅲ	2021年12月調整中	Web開催	40名
特別支援教育 基礎Ⅱ-1	調整中	Web開催	40名
精神科急性期 基礎Ⅱ	2021年12月11日(土)～2021年12月12日(日)	Web開催	40名
摂食嚥下 基礎Ⅲ	2021年10月30日(土)～2021年10月31日(日)	Web開催	40名
訪問作業療法 基礎Ⅱ	2021年10月調整中	Web開催	40名
がん 基礎Ⅳ	2021年11月6日(土)～2021年11月7日(日)	Web開催	40名
就労支援 基礎Ⅴ	2021年9月18日(土)～2021年9月19日(日)	Web開催	40名
就労支援基礎Ⅳ・Ⅵ	2021年11月20日(土)～2021年11月21日(日)	Web開催	40名

作業療法重点課題研修			
講座名(仮題を含む)	日程(予定を含む)	開催地(予定を含む)	定員数
MTDLP指導者研修	2022年2月26日(土)～2022年2月27日(日)	Web開催	40名
教員・実習指導者のためのMTDLPを活用した作業療法教育法①	2021年10月31日(日)	Web開催	60名
教員・実習指導者のためのMTDLPを活用した作業療法教育法②	2022年2月12日(土)	Web開催	60名
放課後デイサービスにおける作業療法研修会	調整中	Web開催	80名
英語で学会発表しよう:実践編～WFOT2022に向けたポスター・スライド作成・質疑応答の演習～	2022年1月30日(日)	Web開催	30名
グローバル活動セミナー 海外で働く、学ぶ、生活する～作業療法士が活躍できる海外の選択肢～	2022年2月13日(日)	Web開催	30名
臨床実習指導者実践研修会①	2021年8月29日(日)	Web開催	60名
臨床実習指導者実践研修会②	2021年9月25日(土)	Web開催	60名
臨床実習指導者実践研修会③	2021年10月17日(日)	Web開催	60名
臨床実習指導者実践研修会④	2021年12月11日(土)	Web開催	60名
臨床実習指導者実践研修会⑤	2022年1月29日(土)	Web開催	60名
臨床実習指導者実践研修会⑥	2022年2月11日(金)	Web開催	60名

厚生労働省指定 臨床実習指導者講習会			
講座名	日程(予定を含む)	開催地(予定を含む)	定員数
厚生労働省指定 臨床実習指導者講習会②	2021年11月6日(土)～2021年11月7日(日)	Web開催	100名

がんのリハビリテーション研修会			
講座名	日程(予定を含む)	開催地(予定を含む)	定員数
がんのリハビリテーション研修会	2021年10月23日(土)	Web開催	
詳細は協会ホームページをご覧ください。			

eラーニング講座			
講座名	日程(予定を含む)	開催地(予定を含む)	定員数
各講座の申込期間について、詳しくは会員ポータルサイトをご確認ください。			
専門作業療法士(認知症)取得研修 基礎Ⅰ	2021年9月1日(水)～2021年10月31日(日)	eラーニングシステム使用	
専門作業療法士(高次脳機能障害)取得研修 基礎Ⅳ	2021年9月1日(水)～2021年10月31日(日)	eラーニングシステム使用	
がん・非がんの緩和ケア ～作業療法実践に必要な緩和ケアの知識～	2021年9月1日(水)～2021年10月31日(日)	eラーニングシステム使用	
英語での学会発表 抄録・ポスター・スライド作成はじめて講座	2021年9月1日(水)～2021年10月31日(日)	eラーニングシステム使用	
専門作業療法士(訪問)取得研修 基礎Ⅰ	2021年9月1日(水)～2021年10月31日(日)	eラーニングシステム使用	
専門作業療法士(摂食嚥下)取得研修 基礎Ⅰ	2021年9月1日(水)～2021年10月31日(日)	eラーニングシステム使用	

生涯教育講座案内【都道府県作業療法士会】

現職者選択研修						
講座名	日程	主催県士会	会場	参加費	定員	詳細・問合せ先
精神障害	2021年8月29日(日)	福島県	Web開催	4,000円	50名	詳細につきましては、福島県作業療法士会ホームページをご覧ください。県内会員・東北会員を優先としており、お断りする場合がございます。
身体障害	2021年9月4日(土)	石川県	Web開催	4,000円	60名	詳細につきましては、石川県作業療法士会ホームページをご覧ください。
* 身体障害	2021年9月12日(日)	茨城県	Web開催	4,000円	60名	詳細につきましては、茨城県作業療法士会ホームページをご覧ください。
発達障害	2021年9月18日(土)	静岡県	Web開催	4,000円	80名	詳細につきましては、静岡県作業療法士会ホームページをご覧ください。
身体障害	2021年10月3日(日)、 10月10日(日)	奈良県	Web開催	4,000円	50名	詳細につきましては、奈良県作業療法士会ホームページをご覧ください。
老年期障害	2021年10月9日(土)	岩手県	Web開催	4,000円	50名	詳細につきましては、岩手県作業療法士会ホームページをご覧ください。
* 精神障害	2021年10月10日(日)	鹿児島県	Web開催	4,000円	50名	詳細につきましては、鹿児島県作業療法士会ホームページをご覧ください。
* 精神障害	2021年10月17日(日)	青森県	弘前医療福祉大学	4,000円	30名	詳細につきましては、青森県作業療法士会ホームページをご覧ください。県内会員・東北会員を優先としており、お断りする場合がございます。
精神障害	2021年10月17日(日)	島根県	Web開催	4,000円	40名	詳細につきましては、島根県作業療法士会ホームページをご覧ください。
* 発達障害	2021年10月31日(日)	熊本県	Web開催	4,000円	50名	詳細につきましては、熊本県作業療法士会ホームページをご覧ください。
* 精神障害	2021年12月12日(日)	茨城県	Web開催	4,000円	60名	詳細につきましては、茨城県作業療法士会ホームページをご覧ください。
発達障害	2022年1月30日(日)	群馬県	Web開催	4,000円	50名	詳細につきましては、群馬県作業療法士会ホームページに掲載予定です。

*は新規掲載分です。

★現職者選択研修の受講には、日本作業療法士協会への入会とともに、各都道府県士会への入会も必要です。所属士会以外で受講される場合には、開催士会から所属士会へ入会状況の確認をさせていただくことがありますので、ご了承の上、お申込みください。

■ 詳細は、日本作業療法士協会のホームページをご覧ください。

■ 協会主催研修会の問い合わせ先 電話：03-5826-7871 FAX：03-5826-7872 E-mail：ot-kenshu@jaot.or.jp



協会刊行物・配布資料一覧

資料名	略称	税込価格
パンフレット 一般向け協会パンフレット (作業療法ってなんですか?)	パンフ OT	無料 (送料負担) ※ただし、1年につき50部を超える場合は、有料。
一般向け協会パンフレット (INFORMATION BOOK 1) 英語版	パンフ英文	
入会案内	パンフ入会	
ポストカード ポストカード第1集 ポスター編 (7枚セット)	ポストカード①	306円
広報 DVD 身体障害者に対する作業療法	広報 DVD 身体	各 4,074円
精神障害に対する作業療法	広報 DVD 精神	
作業療法関連用語解説集 改訂第2版 2011	用語解説集	1,019円
作業療法白書 2015	白書 2015	2,037円
日本作業療法士協会五十年史	五十年史	3,056円

作業療法マニュアルシリーズ

資料名	略称	税込価格	資料名	略称	税込価格
31: 精神障害: 身体に働きかける作業療法	マ 31 精神・身体	各 1,019円	58: 高次脳機能障害のある人の生活・就労支援	マ 58 高次生活・就労	各 1,019円
35: ヘルスプロモーション	マ 35 ヘルスプロモ		60: 知的障害や発達障害のある人への就労支援	マ 60 知的・発達・就労	
36: 脳血管障害に対する治療の実践	マ 36 脳血管		61: 大腿骨頸部/転子部骨折の作業療法 第2版	マ 61 大腿骨第2版	
37: 生活を支える作業療法のマネジメント 精神障害分野	マ 37 マネジメント		62: 認知症の人と家族に対する作業療法	マ 62 認知家族	
41: 精神障害の急性期作業療法と退院促進プログラム	マ 41 退院促進		63: 作業療法士ができる地域支援事業への関わり方	マ 63 地域支援	
43: 脳卒中急性期の作業療法	マ 43 脳急性期		64: 栄養マネジメントと作業療法	マ 64 栄養	
46: 呼吸器疾患の作業療法②	マ 46 呼吸器②		65: 特別支援教育と作業療法	マ 65 特別支援	
47: がんの作業療法① 改訂第2版	マ 47 がん①	1,540円	66: 生活行為向上マネジメント 改訂第3版	マ 66 MTDLP	2,200円
48: がんの作業療法② 改訂第2版	マ 48 がん②	1,100円	67: 心大血管疾患の作業療法 第2版	マ 67 心大血管	1,760円
50: 入所型作業療法	マ 50 入所型	各 1,019円	68: 作業療法研究法 第3版	マ 68 研究法	1,100円
51: 精神科訪問型作業療法	マ 51 精神訪問		69: ハンドセラピー 第2版	マ 69 ハンド第2版	1,760円
52: アルコール依存症者のための作業療法	マ 52 アルコール依存		70: 認知症初期集中支援-作業療法士の役割と視点-第2版	マ 70 認知症初期	1,320円
53: 認知機能障害に対する自動車運転支援	マ 53 自動車運転		71: 生活支援用具と環境整備 I -基本動作とセルフケア-	マ 71 生活支援用具 I	1,760円
54: うつ病患者に対する作業療法	マ 54 うつ病		72: 生活支援用具と環境整備 II -IADL・住宅改修・自助具・社会参加-	マ 72 生活支援用具 II	2,200円
55: 摂食嚥下障害と作業療法 -吸引の基本知識も含めて-	マ 55 摂食・嚥下				

【申し込み方法】

お問い合わせは協会事務局までお願いします。

申し込みは、協会ホームページもしくは機関誌に掲載されている FAX 注文用紙、またはハガキにてお申し込みください。

注文の際は資料名は、略称でかまいません (上の表をご参照ください)。有料配布物は当協会員からのお申し込みの場合、送料は協会が負担します。購入者が非会員や団体等の場合および申し込み者が会員であっても請求書宛名が団体の場合は別途送料 (実費) をご負担いただきます (ただし、都道府県士会からの申込み分は送料無料で)。無料配布パンフレットは、送料のみ負担となります。

有料配布物の場合は請求書・郵便振込通知票が同封されてきます。なるべく早くお近くの郵便局から振り込んでください。

不良品以外の返品は受け付けておりません。

* 在庫僅少

※資料名は略称で結構です。

無料刊行物・配布資料

資料名	部数	資料名	部数
※協会広報活動の参考にしますので、使用目的をお書き下さい			

有料刊行物・配布資料

資料名	部数	資料名	部数

会員番号

氏 名

※当協会の方は、登録されている住所に送付いたします。登録住所に変更がある場合は変更手続きを行ってください。
 非会員の方のみ会員番号欄に住所（〒を含む）、電話番号を記載してください。
 ※都道府県士会の広報活動等で使用される場合は、士会事務局に送付している専用申し込み用紙にて送付してください。
 その場合、枚数制限はございません。



学術誌『作業療法』第41巻1号～6号

(2022年2月～12月発行)

紙媒体配付希望受付について

日本作業療法士協会事務局

2022年発行の学術誌『作業療法』第41巻の紙媒体の配付希望申込みを受け付けます。

今巻同様、第41巻も電子媒体による発行とともに、希望される会員には紙媒体での送付を無料で行います。

紙媒体配付を希望する会員は、希望受付期間中に下記URLより入り、必要事項を記入のうえ、Web上よりお申込みください。

URL : <https://forms.gle/tEa27PEpxTvjWn5i7>

こちらのQRコードからも申込みページへアクセスできます。



紙媒体希望受付期間： 2021年8月1日(日)～10月31日(日)

※現在、紙媒体での配付を受けている会員の皆様も、第41巻を希望する場合には、あらためてこの申込みの手続きが必要となります。自動継続とはなりませんのでご注意ください。

※申込みをされますと自動返信メールが配信されますので、そのメールは大切に保管しておいてください。

ある地方議員との16年

日本作業療法士連盟 福岡県責任者 座小田 孝安



福岡県には今年1月の北九州市議会議員選挙で5期目の当選を果たした作業療法士の中村よしお（義雄）さんがいます。

彼は、私が作業療法士養成校在学時の一つ後輩にあたり、もうすぐ40年来の付き合いになります。

現在、福岡県には作業療法士連盟がありませんので、選挙活動で作業療法士が集まるのは中村さんの選挙の時くらいになります。今まで5回の選挙活動を行ってきましたが、最初の選挙活動は右も左も分からず素人集団がいわゆる後援会活動を始めたわけですから、みんなで集まって「あーでもない。こーでもない」と不安な日々を過ごした気がします。その後、選挙活動に詳しい私の友人に加わってもらい何とか当選を果たすことができました。

中村さんはこの16年間、さまざまなテーマで市政を変える取り組みをやってきたと思います。一番の功績は議員定数の削減（定数61から57）への取り組みですが、議員報酬の減額にも影響を与えました。他にも挙げればきりがありませんが、市民の目線で活動を行ったことがさまざまな方に影響を与えてきたと思います。その様相が顕著に表れたのが

市政報告会の出席者数の増加です。最初のころの市政報告会はセラピストや私の会社のスタッフ、高校時代の同級生など身内で集まっているような会でしたが、回を重ねるうちに知らない顔がたくさん増えてきました。彼が多くの方の話に耳を傾け、何らかの答えを返していくなかで支持者を増やしてきたのだと実感しました。

しかし、今年1月に行われた5期目の選挙はCOVID-19感染拡大のなかでしたので非常に苦労が多かったようです。支持者にも会えない、集会もできないなかでの後援会活動・選挙活動でした。不安な選挙活動でしたが結果は北九州市小倉北区定数11、候補者18に対して3番目で当選することができました。

各地で地方議員として作業療法士が活躍しているとの情報が入ってきますが、どの方も社会的弱者の視点で活動をしているように見受けられます。今後、さらに多くの地域で私たちの生活に身近な作業療法士の地方議員が出てくることを期待しています。

「医療福祉eチャンネル」の単位認定番組（自宅受講、ポイント取得可）

単位認定は、日本作業療法士協会会員ポータルサイトに反映されます



現職者共通研修プログラム対応番組

1講座（番組）あたり、1.5時間の単位認定を受けることができます。

「生活行為向上マネジメント：基礎編」

生活行為向上マネジメントマニュアルを用い、その概論、各種シートの使用方法について学びます。

※新規登録の際には必ず「日本作業療法士協会の方」を選択してください。

「家族が抱える心の悩みに応える」 医療福祉eチャンネル新番組

80・50問題、不登校、ひきこもり、発達障害、子育て不安、うつ、夫婦不平等、家族が抱える悩みは尽きません。臨床経験豊かな心理学領域の講師陣が、家族が抱える心の悩みに応えます。（全4回）

医療・福祉の動画配信サイト

医療福祉 eチャンネル

☎ 0120-870-774（前9:00～後5:00/土・日・祝を除く）

E-mail: info@iryofukushi.com URL: <http://www.ch774.com>

催物・企画案内

第 62 回 全日本病院学会 in 岡山

テーマ：コロナ禍での病院経営 ～持続可能へのチャレンジ！～

日 時：ライブ配信：2021. 8/21 (土)・22 (日)
オンデマンド配信：2021. 9/6 (月)～10/8 (金)
お問合せ：詳細は下記の URL をご覧ください。
<http://www.convention-w.jp/ajha62/index.html>

バリアフリー 2021

日 時：2021. 8/25 (水)～27 (金)
会 場：インテックス大阪
お問合せ：詳細は下記の URL をご覧ください。
<https://www.tvoe.co.jp/bmk/>

日本職業リハビリテーション学会 第 48 回 (愛知) 大会

テーマ：職業リハビリテーションの視点で真の働き方
改革を考える
～これからの 10 年を目指して～

日 時：ライブ配信 2021. 8/27 (金)・28 (土)
オンデマンド配信 2021. 8/27 (金)～9/11 (土)
お問合せ：詳しくは、下記の URL をご覧ください。
<https://www.shokuriha-aichi.com/>

第 2 回 Care TEX 仙台

日 時：2021. 9/1 (水)・2 (木)
会 場：夢メッセ みやぎ
お問合せ：詳細は下記の URL をご覧ください。
<http://sendai.caretex.jp/>

いきがい・助け合いサミット in 神奈川

日 時：2021. 9/1 (水)・2 (木)
会 場：パシフィコ横浜 (神奈川県横浜市西区みなとみらい 1-1-1)
ライブ配信あり
お問合せ：詳細は下記の URL をご覧ください。
<https://www.sawayakazaidan.or.jp/news/summit-kanagawa/>

第 42 回 全国デイ・ケア研究大会 2020 ～ 2021 in 倉敷

テーマ：やる気とつながり 地域共生社会での通所ケアの役割
日 時：2021. 9/3 (金)・4 (土)
会 場：倉敷市芸文館
お問合せ：詳細は下記の URL をご覧ください。
<https://42daycare-kurashiki.com/>

UBOM (簡易客観的精神指標検査) 技術講習会・2021

日 時：2021. 9/4 (土)・5 (日)
9/4 (土) 10:00～17:00
9/5 (日) 9:30～14:20
会 場：本会場 (福島県立医科大学)、
サテライト会場 & 実技講習会場 (京都大学 (仮)、ウイル愛知 (仮))
お問合せ：特定非営利活動法人臺式簡易客観的精神指標研究会 (NPO 法人 UBOM 研究会)
〒963-8803 郡山市横塚 3-4-21 こおりやまほっとクリニック
事務連絡先：FAX / 024-573-1480
E-mail / ubom@fmu.ac.jp
<http://ubom.net/>

お申込み：参加申し込みは、本研究会 HP (<http://ubom.net>) より表示にそって行って下さい。

★申込み期限：2021. 7/30 (金) (必着)：申し込み開始：2021. 5/7 (金)

★技術講習会・2021 の詳細につきましては当法人 HP をご覧ください。プログラムなどを掲載しております。

対 象 者：精神科医、看護師、臨床心理士、作業療法士、臨床検査技師、精神保健福祉士、その他医療従事者

参 加 費：全日程への参加：会員 5,000 円
非会員：10,000 円
1 日 (ベーシック・アドバンスド) のみの参加：会員 3,000 円 非会員：6,000 円
*当日入会可能です。その場合は会員価格に +5,000 円 (年会費 1 年分) をいただきます。

国治研セミナー

第 189 回～ユニバーサルデザインの視点を取り入れた英語教育～

日 時：2021. 9/4 (土) 10:00～12:30

第 190 回「神経認知リハビリテーション～子供から高齢者まで～」

日 時：2021. 10/3 (日) 10:00～12:30

各回ともに当日の視聴が難しい場合は、後日配信可能 (要相談)

会 場：Zoom によるミーティングによるオンライン視聴
お問合せ：詳細は下記の URL をご覧ください。
<http://childlife.gr.jp/education/>

「催物・企画案内」の申込先

kikanshi@jaot.or.jp

掲載の可、不可についてはご連絡致しませんことをご理解ください。また、2号以上の掲載はお引き受けいたしかねます。なお、原稿によっては割愛させていただきます場合がございますので、ご了承ください。

新規事業オフィス開設につき募集します

- 募集人員/各1名
- 応募資格/作業療法士/看護師(保健師) ※常勤/非常勤
- 勤務時間/9:00~18:00
- 休日/完全週休2日制(夏季/年末年始)
- 給与/260,000円以上(経験~歩合加算あり)
- 待遇/各種社会保険完備/賞与:年2回
- 試用期間/6ヶ月 ※キャリアアップ制度
- 応募方法/エントリー/会社説明会は随時実施しております。
お気軽にお電話(メール)下さい。

~分け隔てなくその人らしさを大切にする社会創造のために~
業務内容:①精神科訪問看護②リワーク③産業リハビリ

④自費リハビリ(施設訪問)

- ☆12年前から実施の「リハビリ旅行」
そして新たな取り組み「精神特化型リハビリ旅行」業務
- ☆今までの集大成として、全てのキャリアを形にする為に新規事業を展開します。
- ☆さまざまな職域(業界)でそれぞれのキャリアの積んだ経験者のスキルと知識を存分に発揮しこのプロジェクト(新規事業)の発展へと繋げていく。その資源がここにあります。

板橋区役所前診療所グループ リハビリ推進センター株式会社

(板橋リハビリ訪問看護ステーション/ヘルスプロモーション事業部)

〒173-0013 東京都板橋区氷川町2-11
TEL.03-5943-3151 E-mail.itareha@reha-progress.co.jp
担当:新規事業プロジェクトチーム 木村/森山

作業療法士募集

有資格・新卒

募集人員:若干名

待遇:月給242,640~326,800円 経験年数による(調整手当・住宅手当含む)
昇給年1回、賞与年2回(前年実績3.43ヶ月分)
社会保険完備(労災・雇用・健康・年金)

勤務時間:8:30~17:00(休憩60分)

施設概要:150床、デイケア30名

PT5名 OT3名 ST1名

応募方法:電話連絡後日程調整します

- 交通:
- ▼JR吉祥寺駅南口下車・丸井前4番乗車
・調布駅行き「調布北高校前」下車徒歩5分(吉祥寺駅より約20分)
 - ▼JR三鷹駅南口下車・5番乗車
・調布駅行き「調布北高校前」下車徒歩5分(三鷹駅より約15分)
 - ▼京王線調布駅北口下車・13番乗車
・吉祥寺駅行き「調布北高校前」下車徒歩5分(調布駅より約20分)
・三鷹駅行き「調布北高校前」下車徒歩5分(調布駅より約20分)

医療法人社団 欣助会 介護老人保健施設 花水木

〒182-0011 東京都調布市深大寺北町4-17-7
TEL.042-441-1221 FAX 042-441-5766

担当:小泉

<http://www.roken-hanamizuki.com>

求人広告のお申込と出稿の方法

◆求人広告掲載のお申込は協会事務局まで

施設名、ご担当者名、住所、電話番号、Eメールアドレス、希望の作成パターン(A・Bよりお選びください)を記載のうえ、Eメールにて協会事務局[kikanshi@jaot.or.jp]までお申し込みください。希望掲載号発行月の前々月末が申込締切となります。

A. 基本デザイン作成パターン

(費用=版下作製費0円+広告掲載料13,000円)

①~③の基本フォームからお好きなデザインを選択していただき、掲載情報のみご提供いただきます。文字

内容の変更は受け付けますが、デザインの変更はできません。

B. オリジナル版下支給パターン

(費用=版下作製費0円+広告掲載料13,000円)

指定する要領(幅82mm×高さ122mm)で完全版下をご提供いただいた場合も、版下作製費は発生いたしません。

※複数月掲載の際、デザイン変更を希望され、作業が発生した場合は別途版下代をいただく場合がありますのでご注意ください。また、オリジナルデザインでの版下作製も受け付けておりますので、ご相談ください。

① 作業療法士募集

有資格・新卒 募集人員:●名

待遇:年1回 退職金:勤続5年以上
通勤、住宅、扶養手当あり
健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険
勤務時間:①00:00~00:00(日勤)
②00:00~00:00(夜勤)

休日:4周8休制
有給休暇(年〇日・初年度〇日)
夏季休暇・育児休暇・介護休暇

施設概要:100床
PTO名、OT△名、ST〇名

応募方法:まずは電話もしくはメールにてお問い合わせください

交通:JR山手線〇駅
徒歩5分
(無料送迎バスあり)
職員駐車場有

医療法人社団●●会
△△△△病院
〒111-0042 東京都台東区寿1-5-9 盛光伸光ビル
TEL.03-5826-7871 FAX.03-5826-7872
担当:●●●●
<http://www.●●●●●●.or.jp/>

② 作業療法士募集

施設の概要、エリア、
その他情報をご入力ください

- 募集人員:常勤△名
非常勤〇名
- 応募資格:作業療法士有資格者(経験〇年以上)
- 勤務時間:8:45~17:45(昼間部)
14:00~23:00(夜間部)
- 休日:週休2日制
日・祝祭日・夏季休暇等あり
- 待遇:健康保険・厚生年金・雇用保険
- 応募方法:電話連絡の上、随時面接致します

医療法人△△△△△△△△
□□□□□□病院
〒111-0042 東京都台東区寿1-5-9
TEL.03-5826-7871 FAX 03-5826-7872
担当:●●

③ 新規事業所開設につき増員します

- 募集職種/作業療法士 〇名
- 応募資格/経験者(有資格者)
新卒者(平成〇年3月卒業見込みの方)
- 雇用形態/①常勤 ②非常勤
- 業務内容/訪問看護ステーションからの訪問リハビリ業務
- 勤務時間/①00:00~00:00(日勤)
②00:00~00:00(夜勤)
- 休日/4周8休制
有給休暇(年〇日・初年度〇日)
夏季休暇・育児休暇・介護休暇・その他特別休暇
- 給与/〇〇〇,000円~ 経験者は基本給に加算あり
- 賞与/年2回(6月・12月、計5ヶ月(前年度実績))
- 待遇/昇給:年1回 退職金:勤続5年以上
通勤、住宅、扶養手当あり
健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険
- 勤務地/〇〇県〇〇市〇〇区〇〇〇〇〇〇事業所

急性期、回復期から在宅まで、地域密着型のリハビリテーションサービスを展開しています。研修・教育制度も充実しており、若い意欲あるスタッフが多数はたらいています。〇月、市内中央は新規開設事業所のオープニングスタッフを募集します。

●まずは電話もしくはメールにてお問い合わせください
●見学随時
医療法人 〇〇会 〇〇〇〇病院グループ
〒111-0042 東京都台東区寿1-5-9 盛光伸光ビル
TEL (03) 5826-7871 FAX (03) 5826-7872
担当:〇〇課 〇〇 E-mail 〇〇〇〇〇〇@〇〇〇〇.jp
URL <http://www.〇〇〇〇〇〇.or.jp>



機関誌がホームページに毎号掲載されているのは、ご存じでしょうか？

現在、選挙の公示などが載っている一部の号以外は、機関誌がごきしだいホームページにアップしていますので、実は皆様のお手元に届くより早く機関誌を読むことができます。また、ホームページには創刊号から掲載しており、過去の記事を読み返すこともできます。そのホームページ版の機関誌に、今号より目次機能が付きました。目次のタイトルをクリックするとそのページまで飛ぶことができるようになったので、今までのようにスクロールしなくてもお目当てのページにたどり着けます。電子版・紙媒体ともに長所・短所があります。うまく使い分けていただくと幸いです。

(遠藤)

本誌に関するご意見、お問い合わせがございましたら下記までご連絡ください。

E-mail kikanshi@jaot.or.jp

■ 2020 年度の確定組織率

61.4% (会員数 61,296 名 / 有資格者数 99,776 名^{*})

^{*} 2021 年度は会員数がまだ確定していないため組織率の算定ができません。当協会の最新の組織率としては、理事会の承認を得て確定した 2020 年度の会員数に基づくこの数値をご利用ください。

■ 2021 年 7 月 1 日現在の作業療法士

有資格者数 104,286 名^{*}

会員数 62,805 名

社員数 249 名

認定作業療法士数 1,180 名

専門作業療法士数 (延べ人数) 114 名

■ 2020 年度の養成校数等

養成校数 201 校 (210 課程)

入学定員 7,950 名

^{*} 有資格者数の数値は、過去の国家試験合格者数を単純に累計した数に、本会が把握し得た限りでの外国で取得した免許から日本国免許へ切り換えた者に加え、死亡退会者数 (258 名) を除いた数として示していますが、免許証の未登録、取り消し、本会が把握し得ない死亡その他の理由による消除の結果生じた減数分は算入されていません。

日本作業療法士協会誌 (毎月 1 回発行)

第 113 号 2021 年 8 月 15 日発行

□ 広報部 機関誌編集委員会

委員長：香山 明美

委員：関本 充史、岡本 宏二、磯野 弘司、野崎 智仁、岡村 忠弘、米井 浩太郎、浅倉 恵子、山口 理貴

編集スタッフ：宮井 恵次、遠藤千冬、大胡 陽子、谷津 光宏

表紙デザイン：渡辺美知子デザイン室 / 制作・印刷：株式会社サンワ

発行所 〒111-0042 東京都台東区寿 1-5-9 盛光伸光ビル

一般社団法人 日本作業療法士協会 (TEL.03-5826-7871 FAX.03-5826-7872)

■ 協会ホームページアドレス <https://www.jaot.or.jp/>

□ 求人広告：1/4 頁 1 万 3 千円 (賛助会員は割引あり)



お母さんが洗ってくれてる。うれしい。

脳卒中で倒れて以来、入院生活を送っていた女性は、まだ小学生のお子さんがいるお母さんでした。思うように体が動かない自分に涙し、くじけそうになることが何度もありました。

「また家族のために洋服やシーツを洗濯してあげたいな」。病院の窓から空をみつめて、あるとき、ふと女性がつぶやきました。「やってみましょう。ゆりちゃんも喜びますよ！」作業療法士から他の医療スタッフや家族にも伝え、一時的に家に戻って洗濯の練習を行うことになりました。

待ちにまったその日は快晴。絶好の洗濯日和。作業療法士も付き添って、半年ぶりの、家での洗濯が始まりました。洗濯物を洗濯機から取り出すこと、庭まで運ぶこと、両手でパンパンと伸ばすこと、洗濯バサミで留めること、以前は当たり前に行っていた一つひとつの作業を、作業療法士とゆりちゃんの手伝いながら丁寧に行いました。

「できたー！干し終えたときは、みんながうれしくて涙が出ました。はりきって洗濯をしてくれているお母さんの姿を、ゆりちゃんはうれしそうに見上げていました。大丈夫。もうすぐお母さん、家に帰れるよ。」

作業療法は、
働くよろこびを取り戻す。

